介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 在宅介護実態調査

調査結果報告書

令和2年6月



目 次

Ι	調査の概要	1
1	調査の目的	3
2		
3		
П		
_		
誹	間査票記入者やご本人の情報について	
	(1)調查票記入者	
	(2)年齢	
	(3)性別	
1	(4) 居住地区 あなたのご家族や生活状況について	
ı	(1)家族構成	
	(2)介護・介助の必要性	
	(3)介護・介助が必要になった主な原因	
	(4) 主な介護・介助者	
	(5)現在の暮らしの経済的状況	
	(6)住居の形態	12
2	2 からだを動かすことについて	13
	(1)階段昇行	
	(2)起立	
	(3)継続的な歩行	
	(4) 転倒した経験	
	(5) 転倒に対する不安	
	(6) 外出しているか(2) (6) か出しているか	
	(7)外出頻度の減少(8)外出を控えているか	
	(9) 外出を控える理由	
	(10)外出する際の移動手段	
3	3 食べることについて	
Ū	(1)本人の身長・体重	
	(2) 固いものが食べにくくなったか	
	(3) お茶や汁物等でむせることがあるか	
	(4) 口の渇き	
	(5) 歯磨きの習慣	
	(6)歯の数と入れ歯の利用状況	
	(7) 噛み合わせ	
	(8) 入れ歯の手入れ	
	(9) 体重の減少	
4	(10) 誰かと食事をする機会	
4	1 毎日の生活について	
	(2) 電話をかけているか	
	(3)日にちがわからないことがあるか	
	(4) 一人での外出	
	(5) 食品・日用品の買い物	
	(6)食事の用意	
	(7)請求書の支払い	
	(8)預貯金の出し入れ	
	(9) 年金などの書類が書けるか	
	(10) 新聞を読んでいるか	

(11)本や雑誌を読んでいるか	
(12) 健康についての記事や番組への関心	27
(13) 友人宅への訪問	27
(14) 相談にのっているか	27
(15) 病人の見舞いができるか	
(16) 若い人への話しかけ	
(17) 趣味はあるか	
(18) 生きがいはあるか	
5 地域での活動について	
(1)会・グループへの参加状況	
(1) 会・グルーグへの参加状況(2) 地域活動への参加者としての参加希望	
(3) 地域活動への企画・運営者としての参加希望	
6 たすけあいについて	
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	
(3) 看病や世話をしてくれる人	
(4) 看病や世話をしてあげる人	
(5) 家族や友人・知人以外の相談相手	
(6) 友人・知人と会う頻度	37
(7) 1か月間に会った友人・知人の数	
(8) よく会う友人・知人との関係	
7 健康について	
(1)主観的健康感	39
(2)主観的幸福感	39
(3) 最近1か月間の気分の状態	40
(4) 最近1か月間の物事に対する心の状態	40
(5) 飲酒の状況	41
(6) 喫煙の状況	41
(7)治療中の病気	42
8 認知症にかかる相談窓口の把握について	
(1)認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるか	
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度	
9 その他	
(1)健康維持のために必要なこと	
(2) 利用してみたい高齢者福祉サービス	
10 リスク分析	
(1) 運動器機能の低下	
(2) 転倒リスク	
(3) 閉じこもり傾向	
(4) 低栄養傾向	
(5) □腔機能の低下	
(6) 認知機能の低下	
(7) IADL (手段的日常生活動作)の低下(2) このほか	
(8) うつ傾向	
(9) 知的能動性の低下	
(10) 社会的役割の低下	
(11)居住地区別有リスク割合	57
Ⅲ 調査結果②【在宅介護実態調査】	59
調査票記入者及び調査対象者について	61
◎A票の聞き取りを行った相手の方	
◎性別	
◎年齢	
◎ 要介護状態区分	

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目	63
(1)世帯類型	63
(2) 家族・親族からの介護の状況	
(3) 主な介護者	64
(4) 主な介護者の性別	64
(5) 主な介護者の年齢	65
(6) 主な介護者が行っている介護	65
(7)介護を理由に仕事を辞めた家族・親族	66
(8) 介護保険サービス以外の支援・サービス利用状況	66
(9) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス	67
(10)施設等への入所・入居の検討状況	67
(11) 現在抱えている傷病	
(12)訪問診療の利用状況	
(13)介護保険サービスの利用状況	
(14) 介護保険サービスを利用していない理由	
B票 主な介護者、もしくはご本人にご回答・ご記入頂く項目	
(1)主な介護者の勤務形態	
(2) 働き方の調整について	
(3) 仕事と介護の両立のための支援	
(4)主な介護者の仕事と介護の継続	
(5) 主な介護者が不安に感じる介護	72
Ⅳ 資料編	73
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票	75
2 在宅介護実態調査 調査票	

Ⅰ 調査の概要

	2	
-	_	-

1 調査の目的

本調査は、令和3年度から令和5年度を計画期間とする「第8期匝瑳市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、本市の高齢者の日常生活の状況、心身の状態、介護予防に対する意識、在宅介護の状況、福祉・介護保険事業に関する意見などをうかがい、計画づくりの参考資料とし活用するために実施しました。

2 調査の設計

調査の設計対象は次のとおりです。

	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査
調査地域	匝瑳市全域	匝瑳市全域
調査基準日	令和元年12月31日現在	
調査期間	令和2年2月3日~2月21日	令和元年9月17日~令和2年4月30日
調査方法	郵送配布、郵送回収	認定調査員による聞き取り調査
調査対象	要介護認定(要介護1~5)を受けていない 65歳以上の方(無作為抽出)	在宅で生活している要支援・要介護認定を 受けている方のうち、上記の「調査期間」内 に更新申請及び区分変更申請に伴う認定 調査を行った方
調査対象者数	2,000人	_
有効回収数	1,391人	237人
有効回収率	69.6%	_
その他	調査票送付後10日から2週間後に礼状兼 催促状を郵送	_

3 表記及び注意点について

- 1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率(%)で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているので、回答比率の合計は100.0%を超えることがあります。
- 3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表しています。
- 4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「n」と表記し、その数を表しています。
- 5. 日常生活圏域として設定した「匝瑳市全域」、および「西地区」「東地区」「南地区」 の3地区別に集計を行いました。

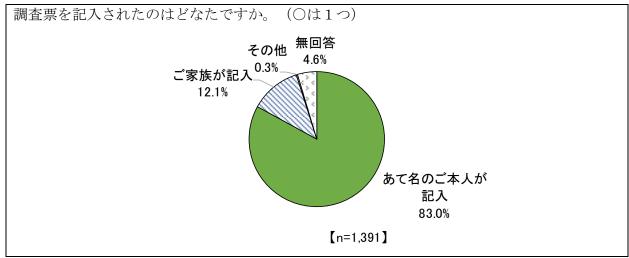
居住地区	中学校区	地区名		
西地区	八日市場第二中学校	中央、豊栄、須賀、匝瑳、吉田、飯高		
東地区	八日市場第一中学校	豊和、共興、平和、椿海		
南地区	野栄中学校	野田、栄		

Ⅱ 調査結果①【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

- 6 -	
-------	--

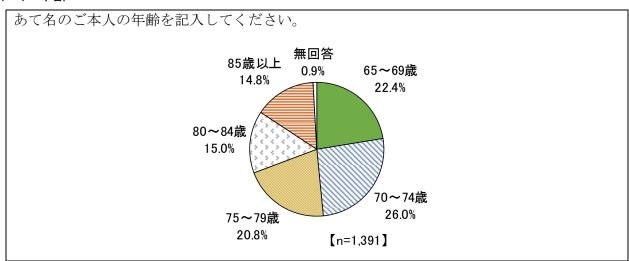
調査票記入者やご本人の情報について

(1)調査票記入者



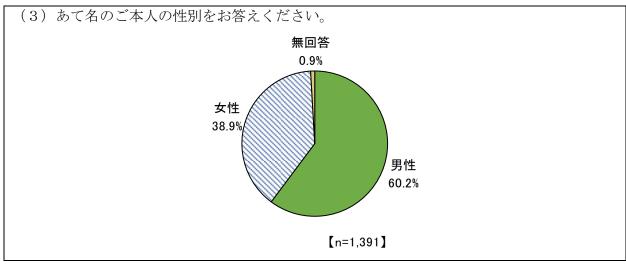
調査票を記入した方は、「あて名のご本人が記入」が83.0%で最も多く、次いで「ご家族が記入」が12.1%となっています。

(2)年齢



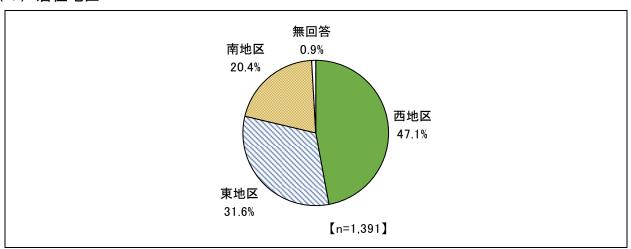
年齢は、「70~74歳」が26.0%で最も多く、以下、「65~69歳」が22.4%、「75~79歳」が20.8%、「80~84歳」が15.0%、「85歳以上」が14.8%などとなっています。

(3)性別



性別は、「男性」が60.2%で、「女性」が38.9%となっています。

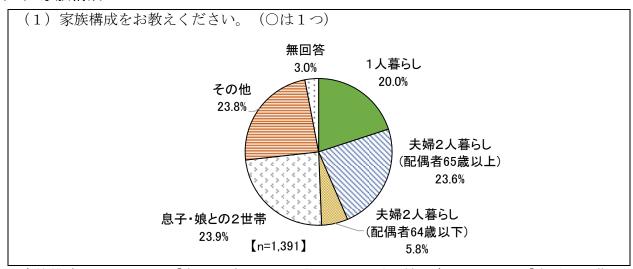
(4)居住地区



居住地区は、「西地区」が47.1%、「東地区」が31.6%、「南地区」が20.4%となっています。

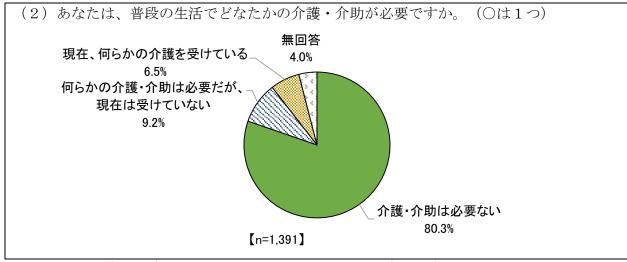
1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成



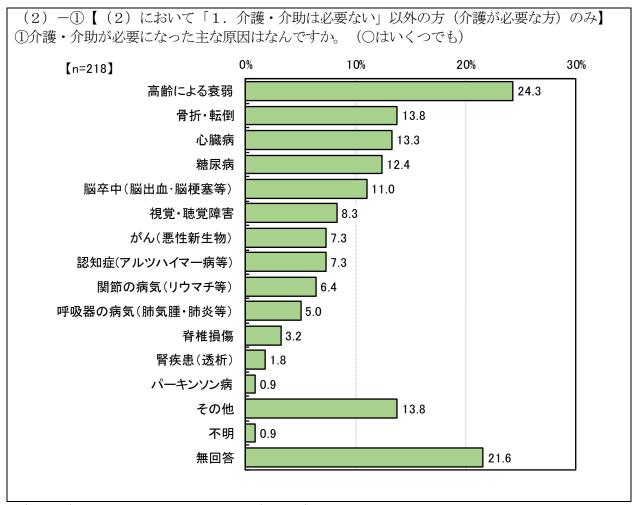
家族構成については、「息子・娘との2世帯」が23.9%で最も多く、以下、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が23.6%、「1人暮らし」が20.0%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が5.8%となっています。

(2)介護・介助の必要性



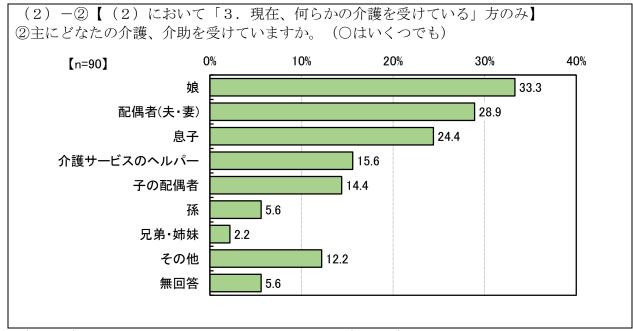
普段の生活で介護・介助を必要とするかについては、「介護・介助は必要ない」が80.3%で最も多く、以下、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が9.2%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が6.5%となっています。

(3) 介護・介助が必要になった主な原因



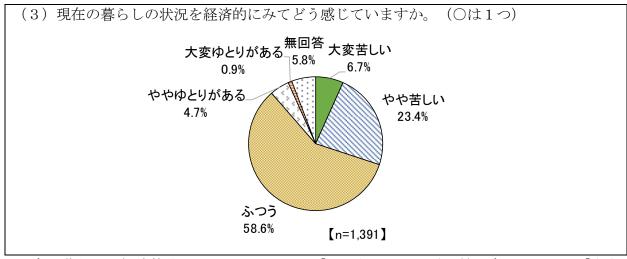
介護・介助が必要と回答した人に、介護・介助が必要になった原因を尋ねたところ、「高齢による衰弱」が24.3%で最も多く、以下、「骨折・転倒」が13.8%、「心臓病」が13.3%、「糖尿病」が12.4%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が11.0%などとなっています。

(4) 主な介護・介助者



介護・介助を受けていると回答した人に、主な介護・介助者を尋ねたところ、「娘」が33.3%で最も多く、以下、「配偶者(夫・妻)」が28.9%、「息子」が24.4%、「介護サービスのヘルパー」が15.6%、「子の配偶者」が14.4%などとなっています。

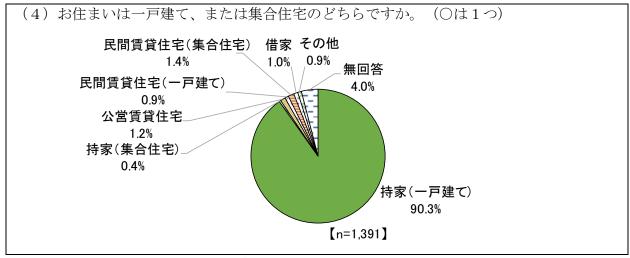
(5) 現在の暮らしの経済的状況



現在の暮らしの経済的状況を尋ねたところ、「ふつう」が58.6%で最も多く、以下、「やや苦しい」が23.4%、「大変苦しい」が6.7%、「ややゆとりがある」が4.7%、「大変ゆとりがある」が0.9%などとなっています。

大別して、生活が苦しいと感じる割合(「やや苦しい」及び「大変苦しい」の合計)は30.1%を占めています。

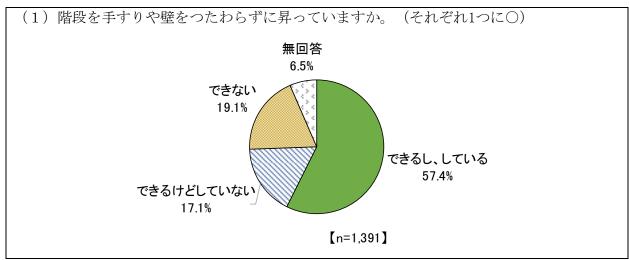
(6) 住居の形態



住居の形態を尋ねたところ、「持家(一戸建て)」が90.3%で大半を占めています。

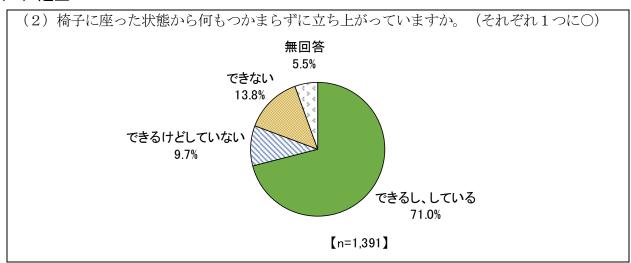
2 からだを動かすことについて

(1) 階段昇行



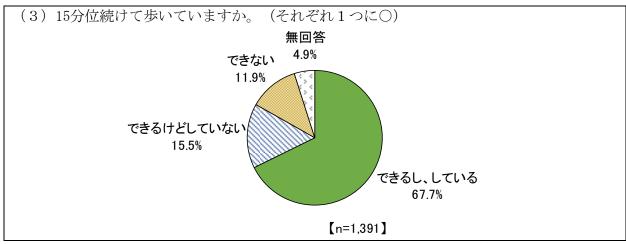
階段を手すりや壁をつたわらずに昇っているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該 当となる「できない」の割合は19.1%となっています。

(2)起立



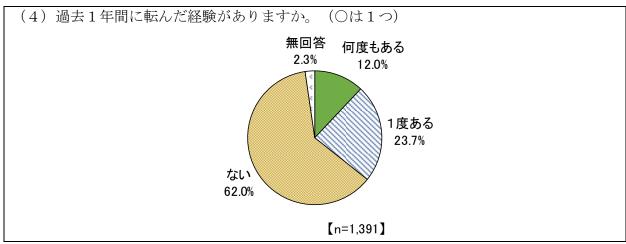
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は13.8%となっています。

(3)継続的な歩行



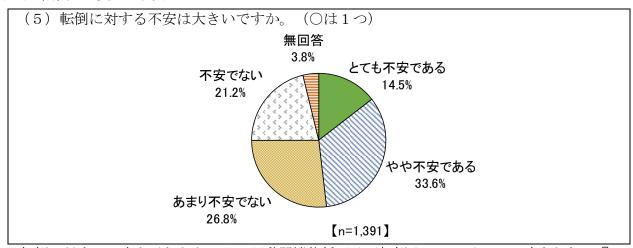
15分位続けて歩いているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は11.9%となっています。

(4) 転倒した経験



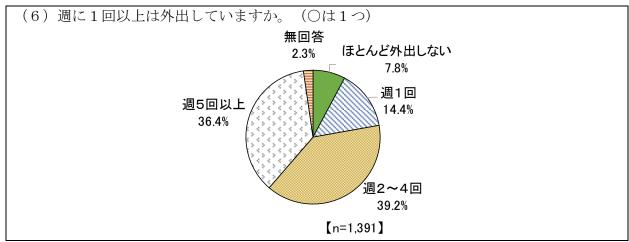
この1年間に転んだことがあるか尋ねたところ、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック 該当となる『ある割合』(「何度もある」と「1度ある」の合計)は35.7%となっています。

(5) 転倒に対する不安



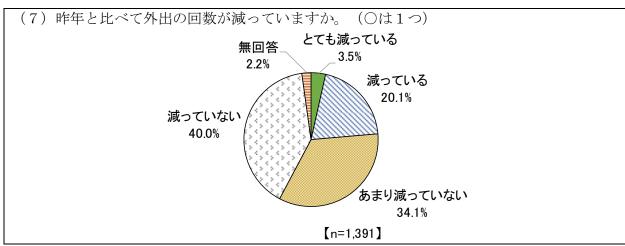
転倒に対する不安を尋ねたところ、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる『不安である割合』(「とても不安である」と「やや不安である」の合計)は48.1%となっています。

(6) 外出しているか



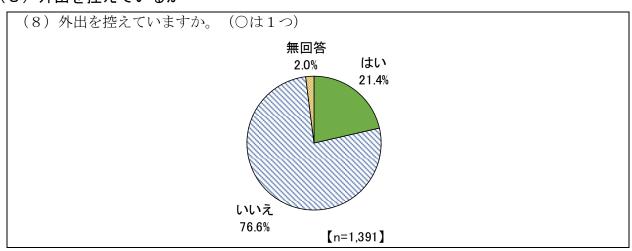
週に1回以上は外出しているか尋ねたところ、閉じこもり傾向のチェック該当となる『外出が少ない割合』(「ほとんど外出しない」と「週1回」の合計)は22.2%となっています。

(7) 外出頻度の減少



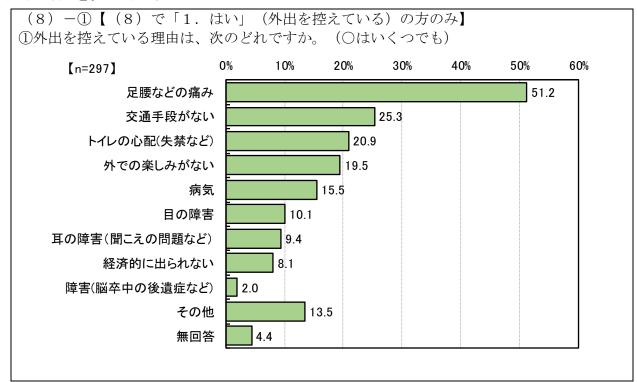
昨年と比べて外出の回数が減っているか尋ねたところ、「減っていない」が40.0%で最も多く、以下、「あまり減っていない」が34.1%、「減っている」が20.1%、「とても減っている」が3.5%などとなっています。

(8) 外出を控えているか



外出を控えているか尋ねたところ、21.4%が「はい」と回答しています。

(9) 外出を控える理由



外出を控えている人に、その理由について尋ねたところ、「足腰などの痛み」が51.2%で最も多く、以下、「交通手段がない」が25.3%、「トイレの心配(失禁など)」が20.9%、「外での楽しみがない」が19.5%、「病気」が15.5%などとなっています。

■居住地区(外出を控える理由)

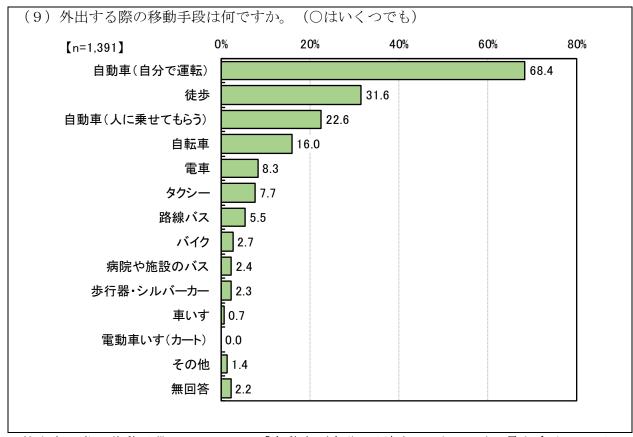
単位:%

	十四. 70										
	_	交通手 段がな い	トイレ の心配 (失禁 など)	外での 楽しみ がない	病気	目の障害	耳の障 害(聞 こえの 問題な ど)	経済的 に出ら れない	障害 (脳卒 中の後 遺症な ど)	その他	無回答
全体(n=297)	51.2	25.3	20.9	19.5	15.5	10.1	9.4	8.1	2.0	13.5	4.4
西地区(n=138)	59.4	26.8	21.0	17.4	16.7	8.7	7.2	5.1	2.2	15.2	2.2
東地区(n=88)	40.9	22.7	15.9	17.0	19.3	12.5	17.0	11.4	3.4	11.4	2.3
南地区(n=68)	48.5	25.0	27.9	27.9	7.4	10.3	4.4	10.3	0.0	11.8	11.8

居住地区でみると、いずれの地区においても「足腰なども痛み」が最も多くなっており、特に西地区では59.4%を占めています。

南地区では「トイレの心配(失禁など)」と「外での楽しみがない」が第2位となっており、「外での楽しみがない」は他の地区より10ポイント以上多くなっています。

(10) 外出する際の移動手段



外出する際の移動手段については、「自動車(自分で運転)」が68.4%で最も多く、以下、「徒歩」が31.6%、「自動車(人に乗せてもらう)」が22.6%、「自転車」が16.0%、「電車」が8.3%などとなっています。

■居住地区(外出する際の移動手段)

単位:%

	自動車(自分 で運転)	徒歩	自動車(人に 乗せてもら う)	自転車	電車	タクシー	路線バス
全体(n=1,391)	68.4	31.6	22.6	16.0	8.3	7.7	5.5
西地区(n=655)	64.7	36.5	23.4	15.1	10.8	9.8	5.0
東地区(n=439)	72.2	30.1	22.1	19.4	6.4	5.5	5.2
南地区(n=284)	70.8	21.1	20.8	12.7	4.6	6.0	7.0

※1位~7位

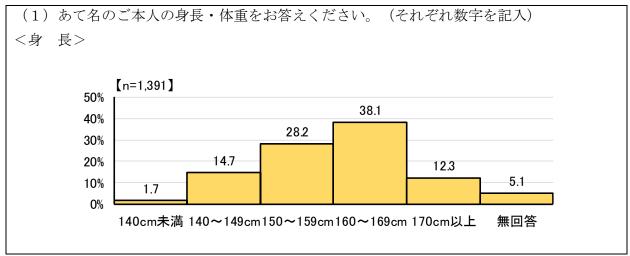
	バイク	病院や施設のバス	歩行器・シルバーカー	車いす	電動車いす (カート)	その他	無回答
全体(n=1,391)	2.7	2.4	2.3	0.7	0.0	1.4	2.2
西地区(n=655)	2.0	3.1	2.6	0.5	0.0	1.8	2.3
東地区(n=439)	4.3	0.9	2.1	0.9	0.0	0.5	1.4
南地区(n=284)	2.1	3.2	2.1	1.1	0.0	1.8	3.5

※8位~無回答

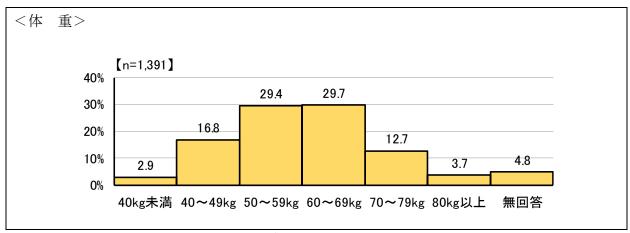
居住地区でみると、いずれの地区においても「自動車(自分で運転)」が最も多く、次いで「徒歩」となっています。

3 食べることについて

(1) 本人の身長・体重

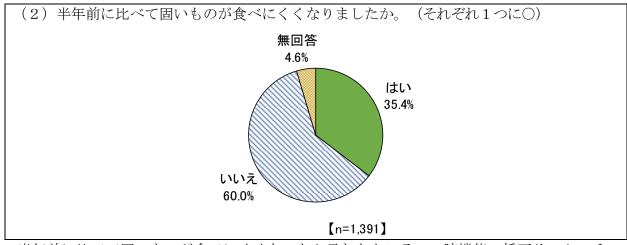


身長は、「 $160\sim169$ cm」が38.1%で最も多く、以下、「 $150\sim159$ cm」が28.2%、「 $140\sim149$ cm」が14.7%となっています。



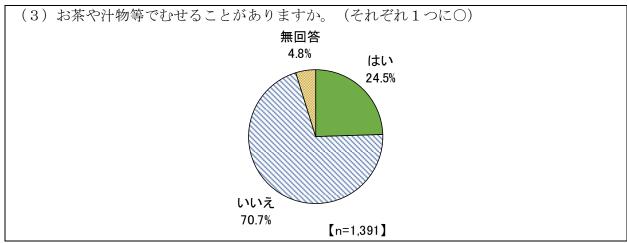
体重は、「 $60\sim69$ kg」が29.7%で最も多く、以下、「 $50\sim59$ kg」が29.4%、「 $40\sim49$ kg」が16.8%となっています。

(2) 固いものが食べにくくなったか



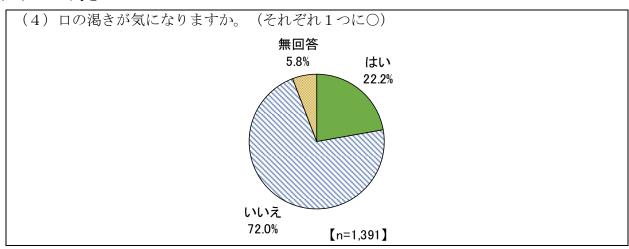
半年前に比べて固いものが食べにくくなったか尋ねたところ、口腔機能の低下リスクのチェック該当となる「はい」の割合は35.4%となっています。

(3) お茶や汁物等でむせることがあるか



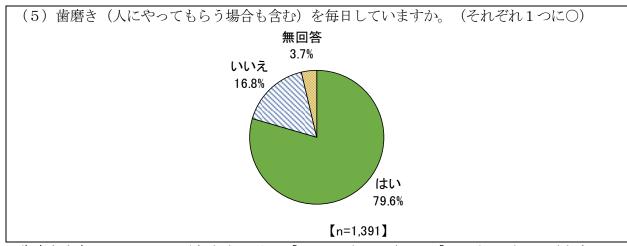
お茶や汁物等でむせることがあるか尋ねたところ、口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は24.5%となっています。

(4)口の渇き



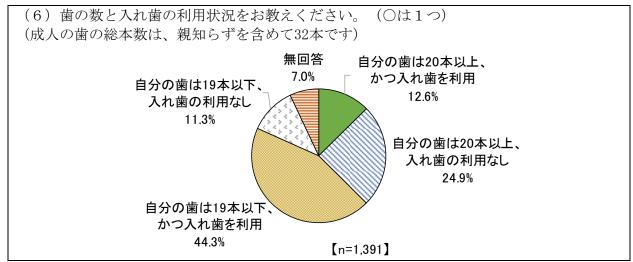
口の渇きが気になるか尋ねたところ、口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は 22.2%となっています。

(5) 歯磨きの習慣



歯磨きを毎日しているか尋ねたところ、「はい」が79.6%で、「いいえ」が16.8%となっています。

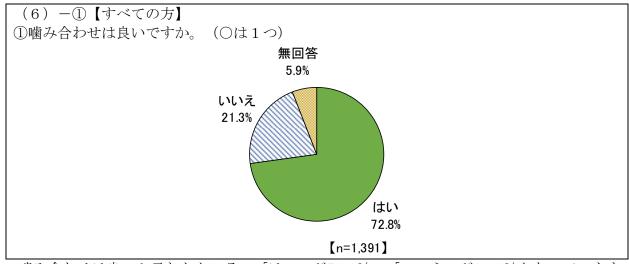
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況



歯の数と入れ歯の利用状況を尋ねたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が44.3%で最も多く、以下、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が24.9%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が12.6%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が11.3%などとなっています。

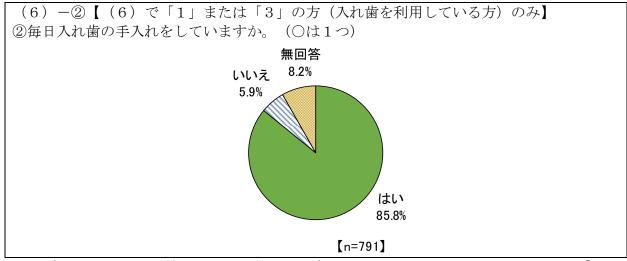
したがって、『自分の歯は20本以上の人』は37.5%、『入れ歯を利用している人』は56.9% となっています。

(7) 噛み合わせ



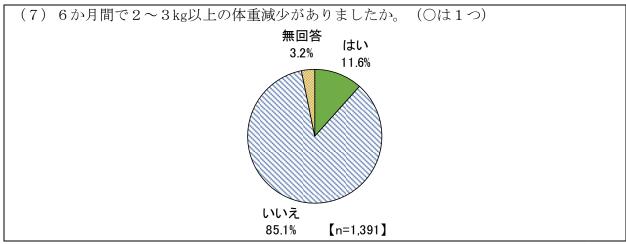
噛み合わせは良いか尋ねたところ、「はい」が72.8%、「いいえ」が21.3%となっています。

(8)入れ歯の手入れ



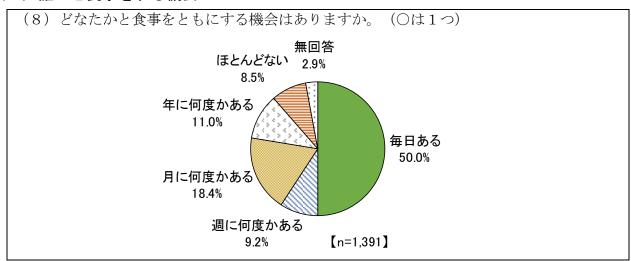
入れ歯をしていると回答した人に、毎日入れ歯の手入れをしているか尋ねたところ、「はい」が85.8%、「いいえ」が5.9%となっています。

(9) 体重の減少



6か月間で $2\sim3$ kg以上の体重減少があったか尋ねたところ、低栄養傾向のチェック該当となるの「はい」の割合は11.6%となっています。

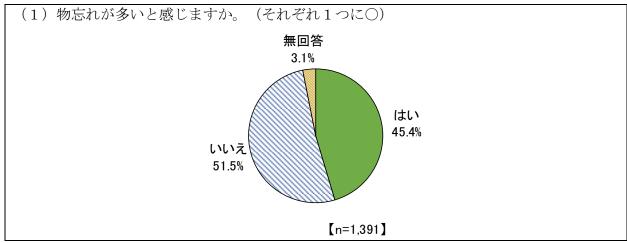
(10) 誰かと食事をする機会



誰かと食事をともにする機会があるか尋ねたところ、「毎日ある」が50.0%で最も多く、以下、「月に何度かある」が18.4%、「年に何度かある」が11.0%、「週に何度かある」が9.2%、「ほとんどない」が8.5%となっています。

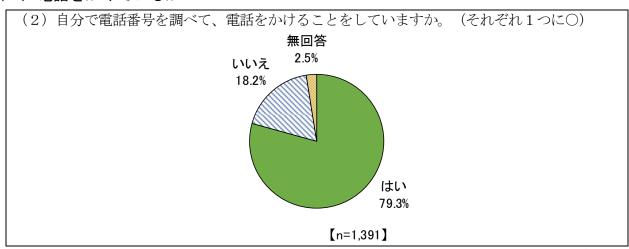
4 毎日の生活について

(1)物忘れがあるか



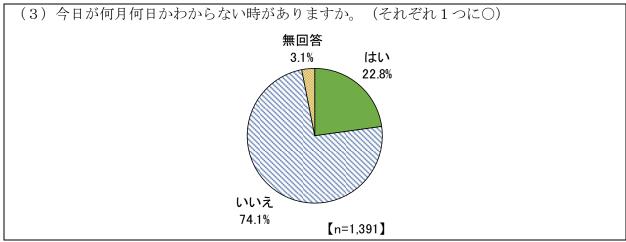
物忘れが多いと感じるか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は45.4%となっています。

(2) 電話をかけているか



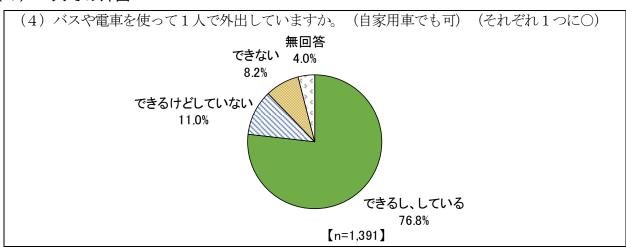
自分で電話番号を調べて電話をかけているか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は18.2%となっています。

(3) 日にちがわからないことがあるか



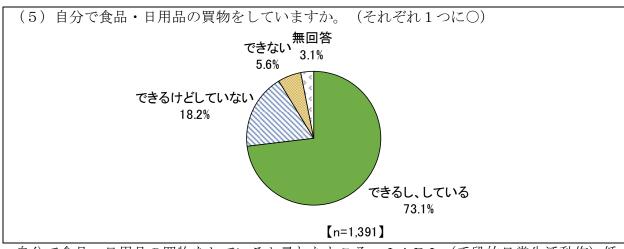
日にちがわからないことがあるか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は22.8%となっています。

(4) 一人での外出



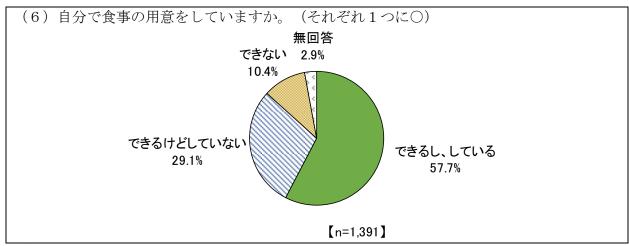
バスや電車を使って一人で外出しているか尋ねたところ、IADL (手段的日常生活動作) 低下のチェック該当となる「できない」の割合は8.2%となっています。

(5) 食品・日用品の買い物



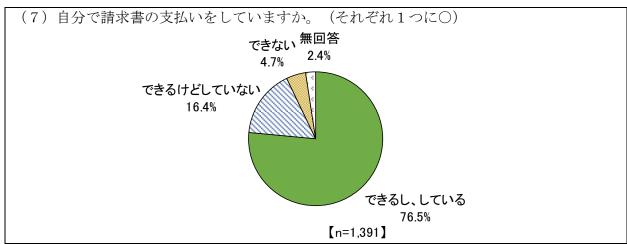
自分で食品・日用品の買物をしているか尋ねたところ、IADL(手段的日常生活動作)低下のチェック該当となる「できない」の割合は5.6%となっています。

(6) 食事の用意



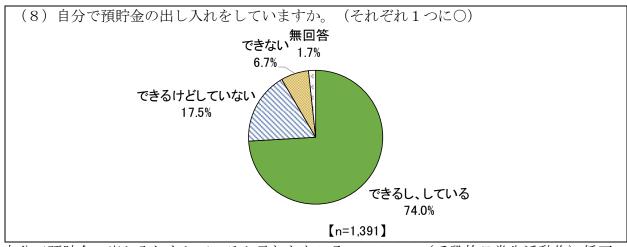
自分で食事の用意をしているか尋ねたところ、IADL (手段的日常生活動作) 低下のチェック該当となる「できない」の割合は10.4%となっています。

(7)請求書の支払い



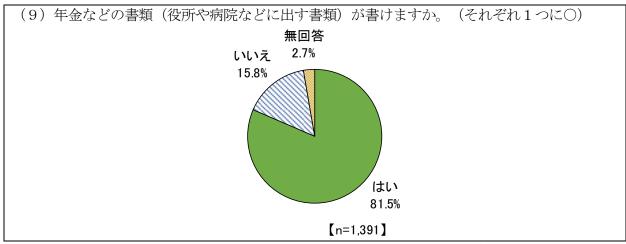
自分で請求書の支払いをしているか尋ねたところ、IADL (手段的日常生活動作) 低下の チェック該当となる「できない」の割合は4.7%となっています。

(8) 預貯金の出し入れ



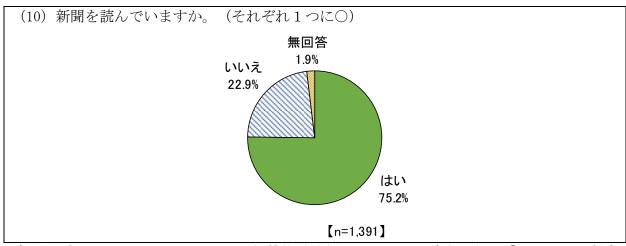
自分で預貯金の出し入れをしているか尋ねたところ、IADL(手段的日常生活動作)低下の チェック該当となる「できない」の割合は6.7%となっています。

(9) 年金などの書類が書けるか



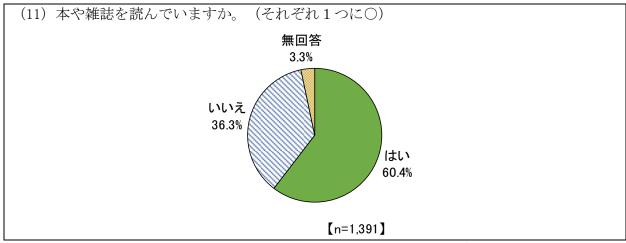
年金などの書類が書けるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」 の割合は15.8%となっています。

(10) 新聞を読んでいるか



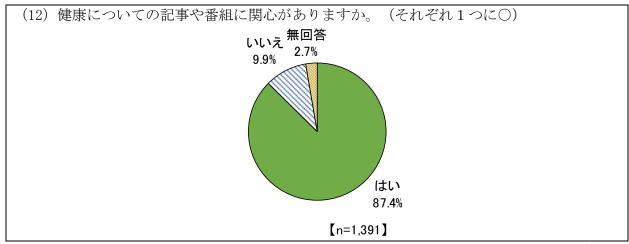
新聞を読んでいるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は22.9%となっています。

(11) 本や雑誌を読んでいるか



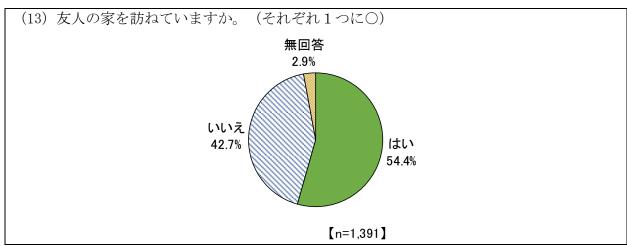
本や雑誌を読んでいるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の 割合は36.3%となっています。

(12) 健康についての記事や番組への関心



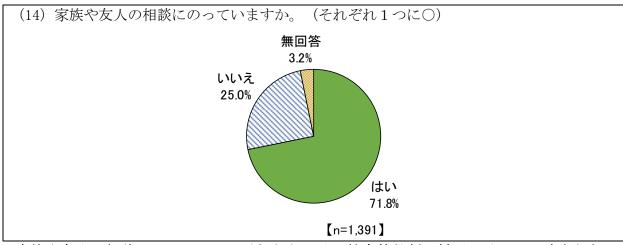
健康についての記事や番組に関心があるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は9.9%となっています。

(13) 友人宅への訪問



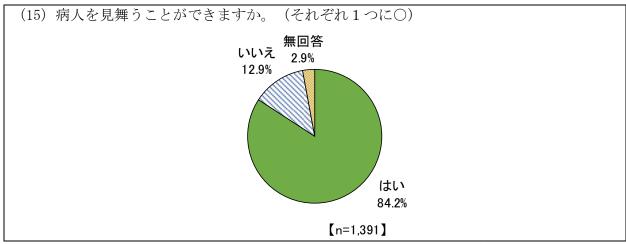
友人宅を訪ねているか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の 割合は42.7%となっています。

(14) 相談にのっているか



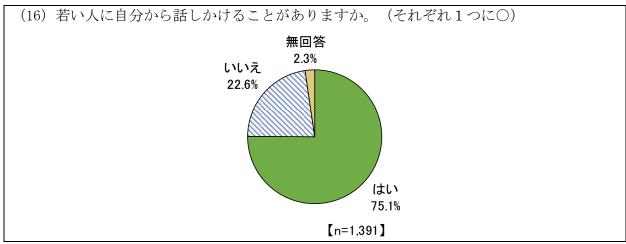
家族や友人の相談にのっているか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は25.0%となっています。

(15) 病人の見舞いができるか



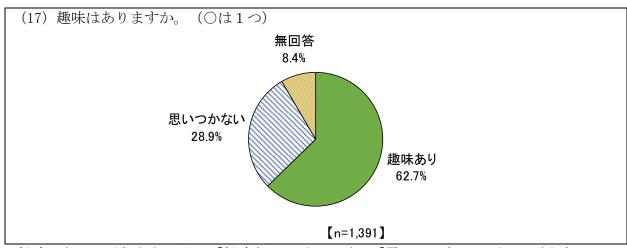
病人の見舞いができるか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」 の割合は12.9%となっています。

(16) 若い人への話しかけ



若い人に話しかけることがあるか尋ねたところ、社会的役割低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は22.6%となっています。

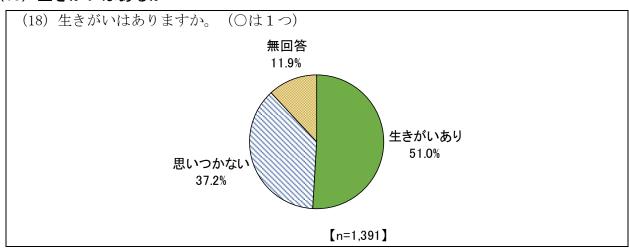
(17) 趣味はあるか



趣味はあるか尋ねたところ、「趣味あり」が62.7%、「思いつかない」が28.9%となっています。

具体的には、ガーデニング、カラオケ、グラウンドゴルフ、ゴルフ、ドライブ、園芸、音楽 鑑賞、家庭菜園、釣り、写真、手芸、囲碁・将棋、読書、旅行などが多く挙げられています。

(18) 生きがいはあるか

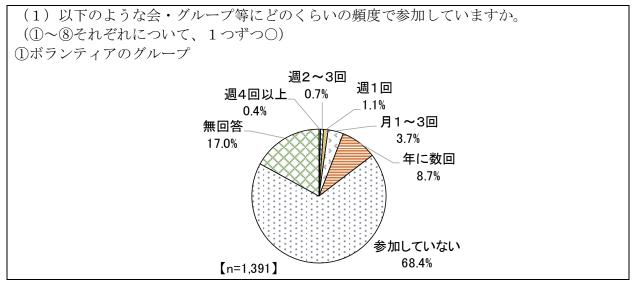


生きがいはあるか尋ねたところ、「生きがいあり」が51.0%で、「思いつかない」が37.2%となっています。

具体的には、孫の成長が突出して多く挙げられており、その他では、家族や友人との時間、 健康でいること、仕事、趣味を続けること、家庭菜園、旅行などが多く挙げられています。

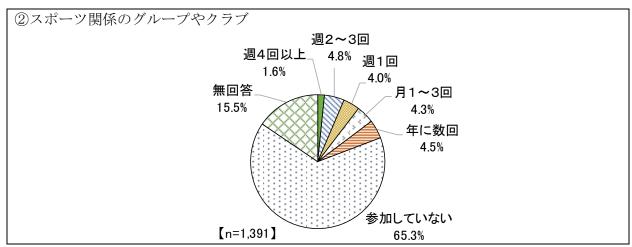
5 地域での活動について

(1)会・グループへの参加状況



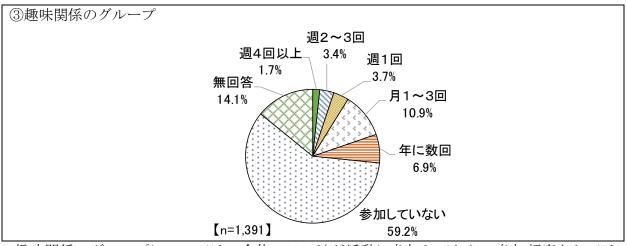
ボランティアのグループについては、全体の14.6%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が8.7%で最も多くなっています。

一方、68.4%は「参加していない」と回答しています。



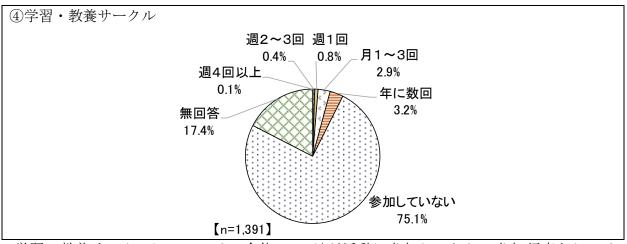
スポーツ関係のグループやクラブについては、全体の19.2%が活動に参加しており、参加頻度としては「週2~3回」が4.8%で最も多くなっています。

一方、65.3%は「参加していない」と回答しています。



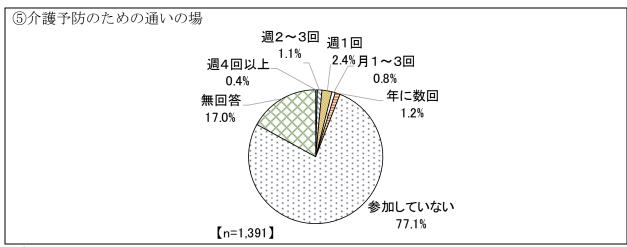
趣味関係のグループについては、全体の26.6%が活動に参加しており、参加頻度としては「月 $1\sim3$ 回」が10.9%で最も多くなっています。

一方、59.2%は「参加していない」と回答しています。



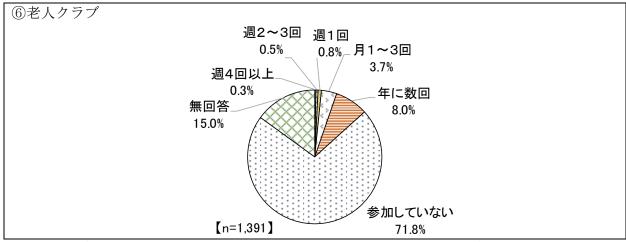
学習・教養サークルについては、全体の7.4%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が3.2%で最も多くなっています。

一方、75.1%は「参加していない」と回答しています。



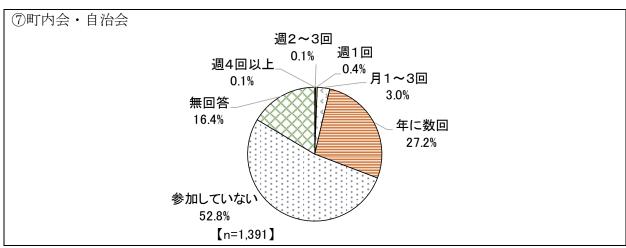
介護予防のための通いの場については、全体の5.9%が活動に参加しており、参加頻度としては「週1回」が2.4%で最も多くなっています。

一方、77.1%は「参加していない」と回答しています。



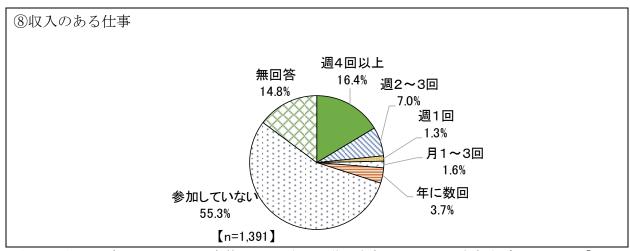
老人クラブについては、全体の13.3%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が8.0%で最も多くなっています。

一方、71.8%は「参加していない」と回答しています。



町内会・自治会については、全体の30.8%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が27.2%で最も多くなっています。

一方、52.8%は「参加していない」と回答しています。

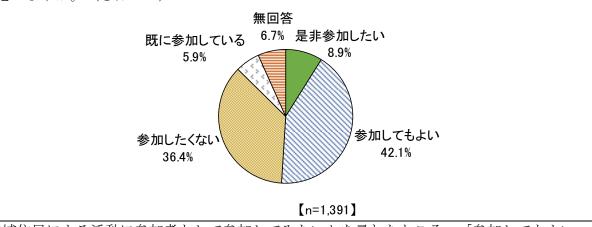


収入のある仕事については、全体の30.0%が活動に参加しており、参加頻度としては「週4回以上」が16.4%で最も多くなっています。

一方、55.3%は「参加していない」と回答しています。

(2) 地域活動への参加者としての参加希望

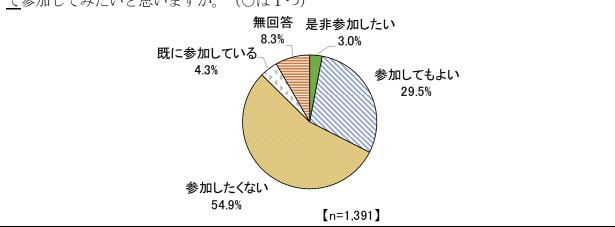
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に<u>参加者として</u>参加してみたいと思いますか。(\bigcirc は1つ)



地域住民による活動に参加者として参加してみたいかを尋ねたところ、「参加してもよい」が42.1%で最も多く、以下、「参加したくない」が36.4%、「是非参加したい」が8.9%、「既に参加している」が5.9%となっています。

(3)地域活動への企画・運営者としての参加希望

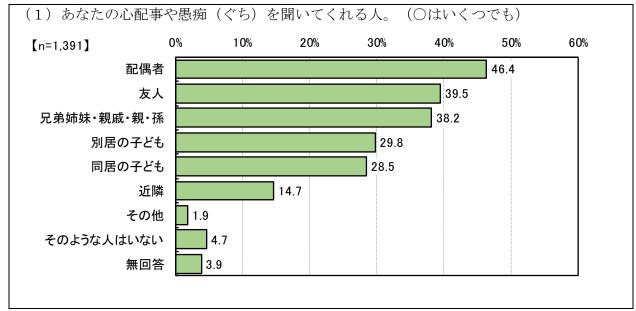
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に $<u>企画・運営(お世話役)とし</u>て参加してみたいと思いますか。(<math>\bigcirc$ は1つ)



地域住民による活動に企画・運営者として参加してみたいかを尋ねたところ、「参加したくない」が54.9%で最も多く、以下、「参加してもよい」が29.5%、「既に参加している」が4.3%、「是非参加したい」が3.0%となっています。

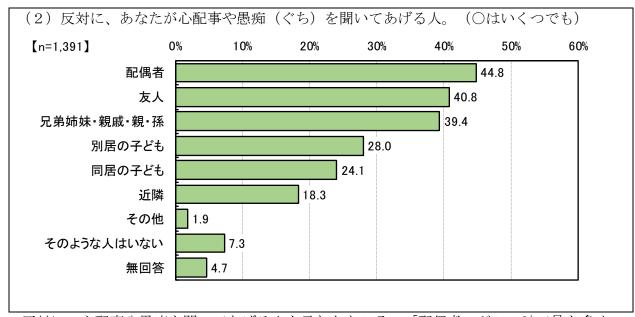
6 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人



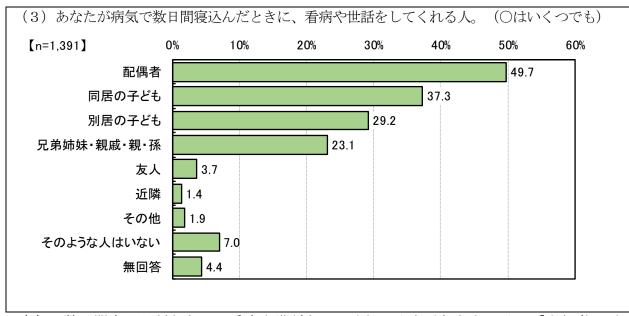
心配事や愚痴を聞いてくれる人を尋ねたところ、「配偶者」が46.4%で最も多く、以下、「友人」が39.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が38.2%、「別居の子ども」が29.8%などとなっています。

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人



反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人を尋ねたところ、「配偶者」が44.8%で最も多く、 以下、「友人」が40.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が39.4%、「別居の子ども」が28.0% などとなっています。

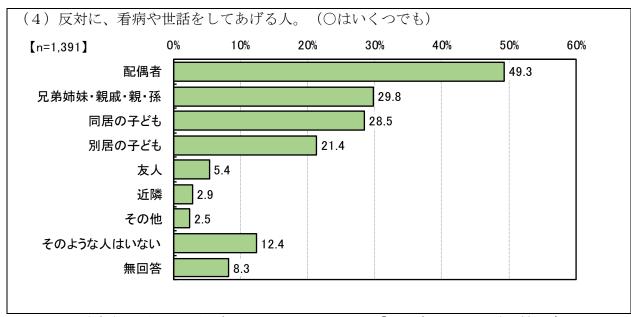
(3) 看病や世話をしてくれる人



病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を尋ねたところ、「配偶者」が49.7%で最も多く、以下、「同居の子ども」が37.3%、「別居の子ども」が29.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が23.1%などとなっています。

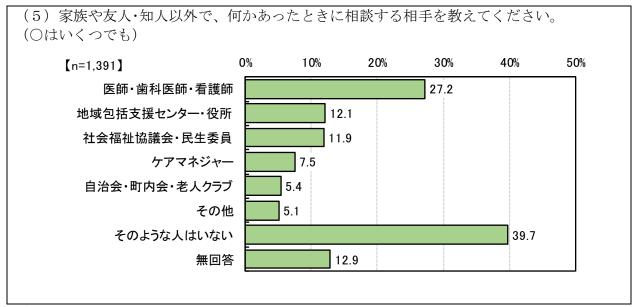
なお、「そのような人はいない」と答えた人の割合は、7.0%となっています。

(4) 看病や世話をしてあげる人



反対に、看病や世話をしてあげる人を尋ねたところ、「配偶者」が49.3%で最も多く、以下、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.8%、「同居の子ども」が28.5%、「別居の子ども」が21.4%などとなっています。

(5) 家族や友人・知人以外の相談相手



家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を尋ねたところ、「医師・歯科医師・看護師」が27.2%で最も多く、「地域包括支援センター・役所」が12.1%、「社会福祉協議会・民生委員」が11.9%、「ケアマネジャー」が7.5%などとなっています。

なお、「そのような人はいない」と答えた人の割合は、39.7%となっています。

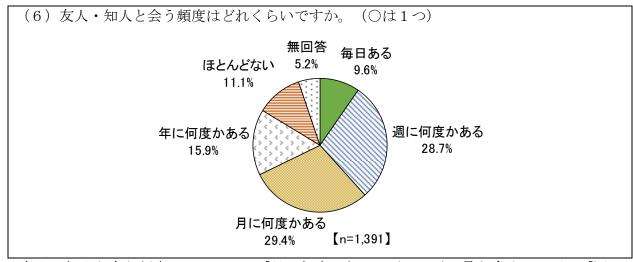
■居住地区(家族や友人・知人以外の相談相手)

単位:%

	医師·歯 科医師· 看護師	協議会・	地域包括支援センター・役所	ケアマネ ジャー	自治会・ 町内会・ 老人クラブ	その他	そのような 人はいな い	無回答
全体(n=1,391)	27.2	12.1	12.1	7.5	5.4	5.1	39.7	12.9
西地区(n=655)	27.2	11.0	11.9	6.4	6.9	5.0	40.6	13.0
東地区(n=439)	28.2	12.1	12.8	6.4	4.8	4.3	41.5	11.4
南地区(n=284)	24.3	14.1	10.9	11.3	3.2	6.0	35.9	15.8

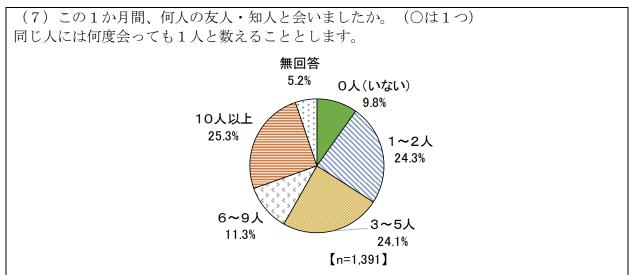
居住地区でみると、いずれの居住地区においても「そのような人はいない」が最も多くなっており、西地区及び東地区では40%を超えています。

(6) 友人・知人と会う頻度



友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が29.4%で最も多く、以下、「週に何度かある」が28.7%、「年に何度かある」が15.9%、「ほとんどない」が11.1%、「毎日ある」が9.6%となっています。

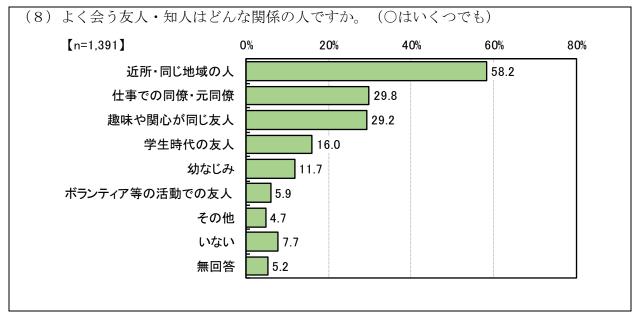
(7) 1か月間に会った友人・知人の数



この1か月間、何人の友人・知人と会ったか尋ねたところ、「10人以上」が25.3%で最も多く、以下、「 $1\sim2$ 人」が24.3%、「 $3\sim5$ 人」が24.1%、「 $6\sim9$ 人」が11.3%となっています。

なお、「0人(いない)」は9.8%となっています。

(8) よく会う友人・知人との関係

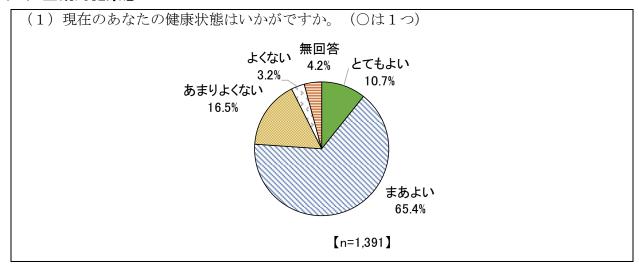


よく会う友人・知人はどのような関係の人か尋ねたところ、「近所・同じ地域の人」が58.2%で最も多く、以下、「仕事での同僚・元同僚」が29.8%、「趣味や関心が同じ友人」が29.2%、「学生時代の友人」が16.0%などとなっています。

なお、7.7%は「いない」と回答しています。

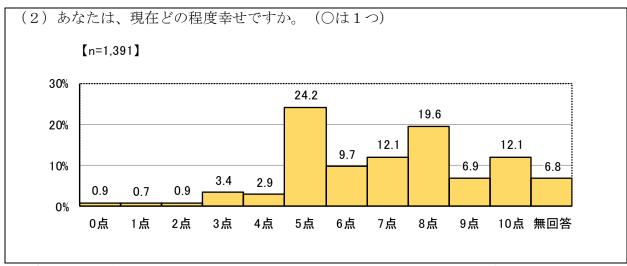
7 健康について

(1) 主観的健康感



現在の健康状態を尋ねたところ、「まあよい」が65.4%で最も多く、以下、「あまりよくない」が16.5%、「とてもよい」が10.7%、「よくない」が3.2%となっています。

(2) 主観的幸福感



現在、どの程度幸せかを点数で尋ねたところ、「5点」が24.2%で最も多く、以下、「8点」が19.6%、「10点」「7点」がともに12.1%、「6点」が9.7%などとなっており、中間点である「5点」以上が大半を占めています。

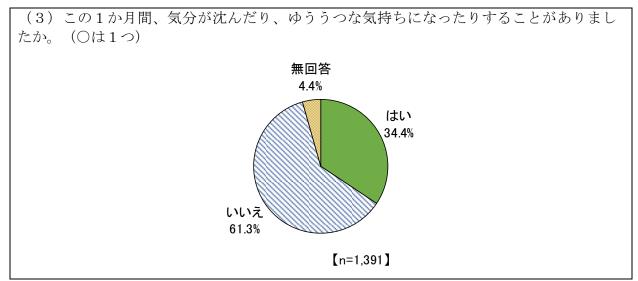
■居住地区(主観的幸福感)

単位:%

	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	100	無回 答
全体(n=1,391)	0.9	0.7	0.9	3.4	2.9	24.2	9.7	12.1	19.6	6.9	12.1	6.8
西地区(n=655)	0.2	0.6	0.5	2.3	2.6	25.0	10.4	12.2	21.4	6.7	12.4	5.8
東地区(n=439)	1.4	1.1	1.1	3.6	3.6	26.0	8.4	12.3	18.0	7.3	10.5	6.6
南地区(n=284)	1.8	0.4	1.4	5.6	2.1	19.7	10.2	11.6	16.9	6.3	14.4	9.5

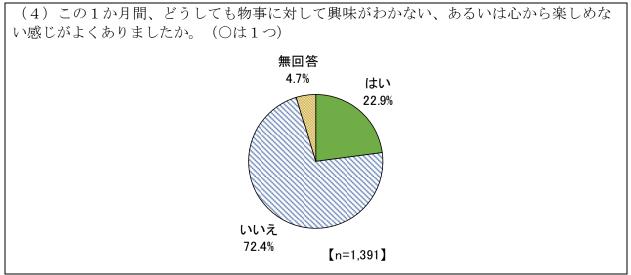
居住地区でみると、いずれの地区においても大半が「5点」以上となっています。

(3) 最近1か月間の気分の状態



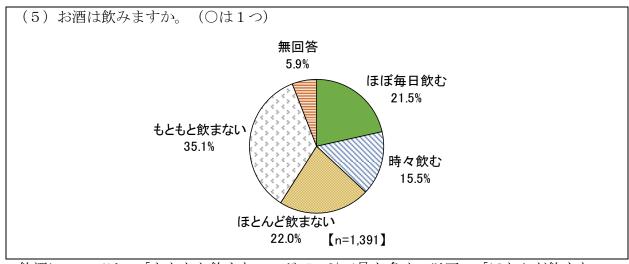
気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか尋ねたところ、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は34.4%となっています。

(4) 最近1か月間の物事に対する心の状態



物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがあったか尋ねたところ、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は22.9%となっています。

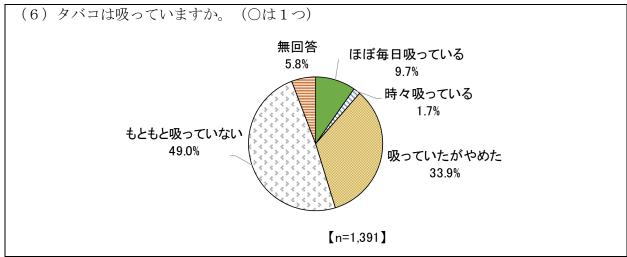
(5) 飲酒の状況



飲酒については、「もともと飲まない」が35.1%で最も多く、以下、「ほとんど飲まない」が22.0%、「ほぼ毎日飲む」が21.5%、「時々飲む」が15.5%などとなっています。

したがって、『飲酒する人の割合』(「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の合計)は37.0%であることが分かります。

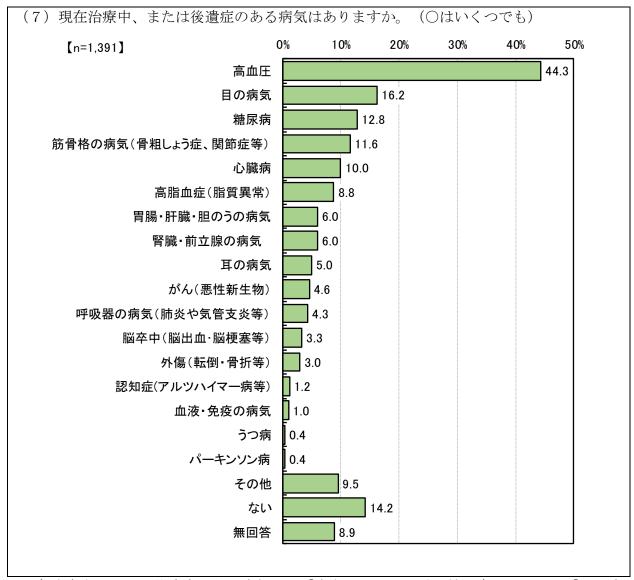
(6) 喫煙の状況



喫煙については、「もともと吸っていない」が49.0%で最も多く、以下、「吸っていたがやめた」が33.9%、「ほぼ毎日吸っている」が9.7%、「時々吸っている」が1.7%などとなっています。

したがって、『喫煙者の割合』(「ほぼ毎日吸っている」及び「時々吸っている」の合計)は11.4%であることが分かります。

(7)治療中の病気

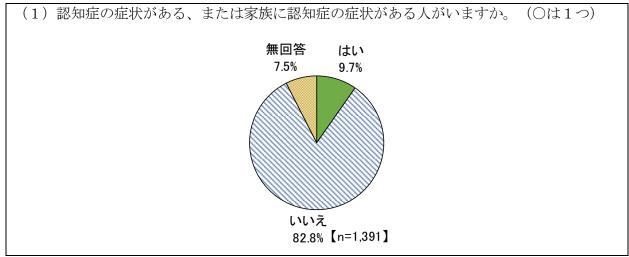


現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」が44.3%で最も多く、以下、「目の病気」が16.2%、「糖尿病」が12.8%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が11.6%などとなっています。

なお、14.2%は「ない」と回答しています。

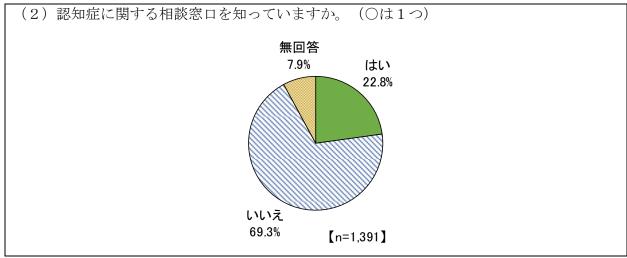
8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるか



認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかを尋ねたところ、「はい」が9.7%となっています。

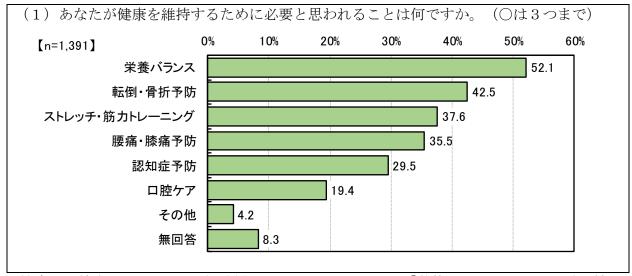
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度



認知症に関する相談窓口の認知度を尋ねたところ、「はい」が22.8%、「いいえ」が69.3%で「いいえ」の方が多くなっています。

9 その他

(1)健康維持のために必要なこと



健康を維持するために必要だと思うことを尋ねたところ、「栄養バランス」が52.1%で最も多く、以下、「転倒・骨折予防」が42.5%、「ストレッチ・筋力トレーニング」が37.6%、「腰痛・膝痛予防」が35.5%、「認知症予防」が29.5%などとなっています。

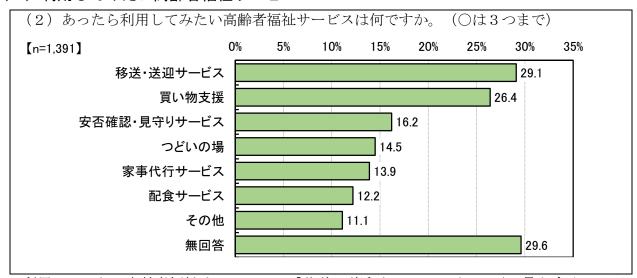
■居住地区(健康維持のために必要なこと)

単位:%

	栄養バランス	転倒•骨折	ストレッチ・ 筋カトレー ニング	腰痛·膝痛 予防	認知症予防	口腔ケア	その他	無回答
全体(n=1,391)	52.1	42.5	37.6	35.5	29.5	19.4	4.2	8.3
西地区(n=655)	49.8	45.0	37.7	35.7	29.8	21.7	4.0	7.6
東地区(n=439)	54.0	43.3	38.0	34.9	29.6	18.2	4.1	7.3
南地区(n=284)	54.6	35.9	35.9	37.0	29.9	16.2	3.2	12.0

居住地区でみると、いずれの地区においても「栄養バランス」が最も多くなっています。 南地区では「腰痛・膝痛予防」が第2位となっています。

(2) 利用してみたい高齢者福祉サービス



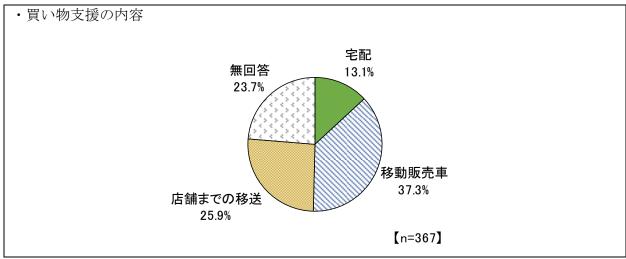
利用してみたい高齢者福祉サービスは、「移送・送迎サービス」が29.1%で最も多く、以下、「買い物支援」が26.4%、「安否確認・見守りサービス」が16.2%、「つどいの場」が14.5%、「家事代行サービス」が13.9%などとなっています。

■居住地区(利用してみたい高齢者福祉サービス)

単位:%

	移送・送迎サービス	買い物支 援	安否確認・ 見守り サービス	つどいの 場		配食サー ビス	その他	無回答
全体(n=1,391)	29.1	26.4	16.2	14.5	13.9	12.2	11.1	29.6
西地区(n=655)	28.4	26.4	16.3	15.9	13.1	13.1	10.1	29.0
東地区(n=439)	28.0	26.0	15.5	12.3	14.4	12.3	13.9	29.8
南地区(n=284)	31.3	26.4	16.5	14.4	14.1	10.2	8.8	32.0

居住地区でみると、いずれの地区においても「移送・送迎サービス」が最も多く、次いで「買い物支援」となっています。



買い物支援の内容については、「移動販売車」が37.3%で最も多く、以下、「店舗までの移送」が25.9%、「宅配」が13.1%となっています。

■居住地区(買い物支援の内容)

単位:%

	移動販売車	店舗までの移送	宅配	無回答
全体(n=367)	37.3	25.9	13.1	23.7
西地区(n=173)	34.7	25.4	17.3	22.5
東地区(n=114)	40.4	26.3	10.5	22.8
南地区(n=75)	41.3	26.7	6.7	25.3

居住地区でみると、いずれの地区においても「移動販売車」が最も多く、次いで「店舗まで の移送」となっています。

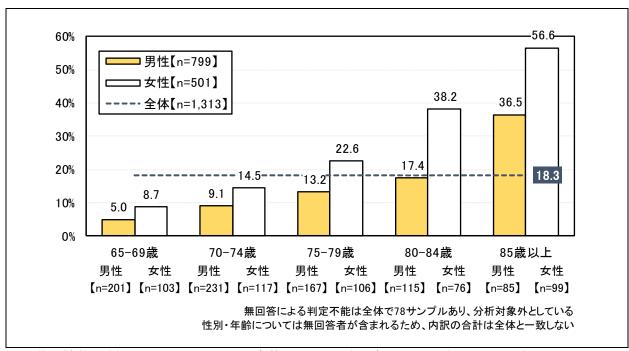
10 リスク分析

(1) 運動器機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で3問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	13 頁
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	13 頁
15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	14 頁
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	14 頁
転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	14 頁



運動器機能の低下リスクについて、全体では18.3%が有リスクとなっています。

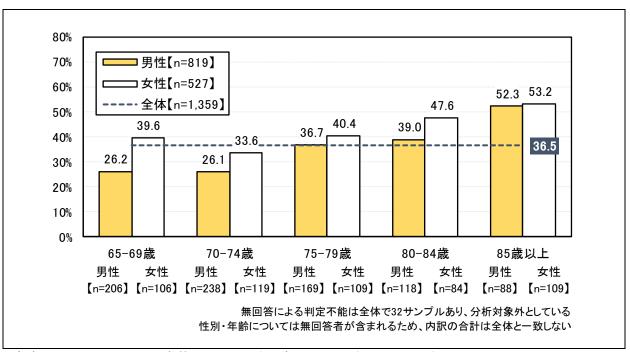
性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては男性では36.5%、女性では56.6%が有リスクとなっています。

(2) 転倒リスク

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

 設問内容	選択肢	参照
過去1年間に転んだ経験がありますか	 1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない 	14 頁



転倒リスクについて、全体では36.5%が有リスクとなっています。

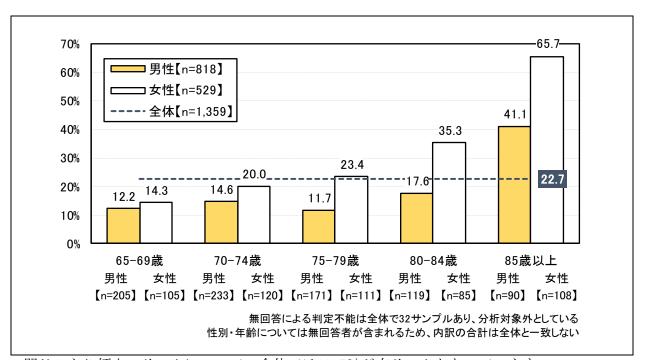
性別・年齢別に該当割合をみると、70歳以上の年齢層では、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては、男性では52.3%、女性では53.2%が有リスクとなっています。

(3) 閉じこもり傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢 (網掛け箇所) が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上	15 頁



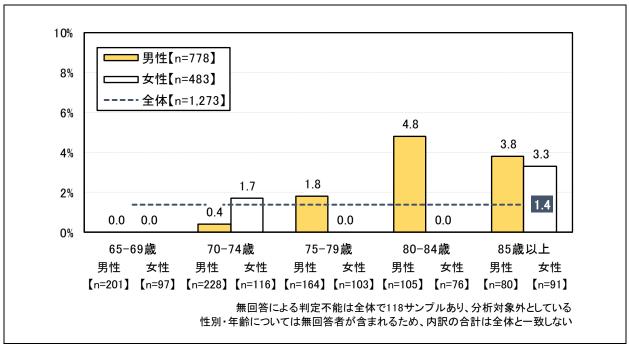
閉じこもり傾向のリスクについて、全体では22.7%が有リスクとなっています。 性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、特に「80~84歳」から「85歳以上」にかけて有リスク者が急増しています。 また、すべての年齢階級において女性が男性を上回っています。

(4) 低栄養傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で、BMIが18.5以下となり、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
身長·体重	身長・体重から算出される BMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が 18.5 以下の場合、低栄養が疑われる	18 頁
6ヶ月間で2~3kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ	22 頁



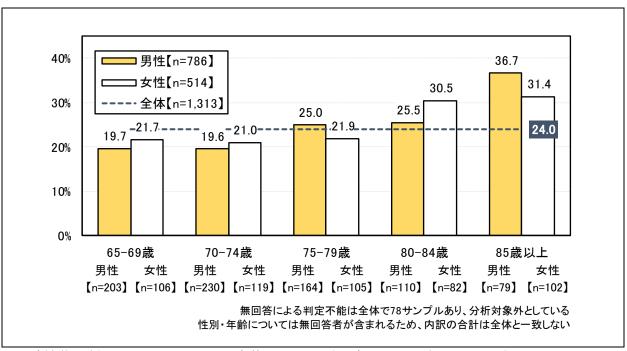
低栄養傾向のリスクについて、全体の該当割合が1.4%と他のリスクに比べて高い数値ではないほか、性別・年齢別に該当割合をみても性別及び年齢による目立った傾向はみられません。

(5) 口腔機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で2問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ	19 頁
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ	19 頁
口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ	19 頁



口腔機能の低下リスクについて、全体では24.0%が有リスクとなっています。

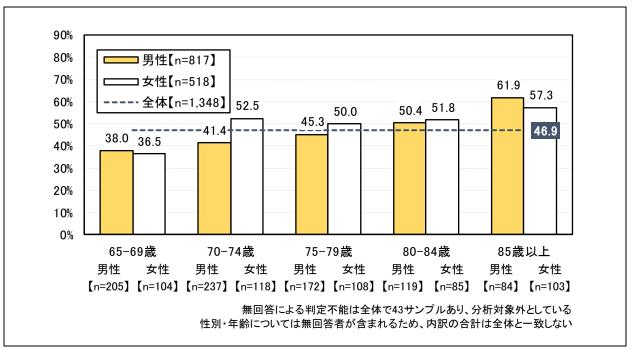
性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては、男性では36.7%、女性では31.4%が有リスクとなっています。

(6) 認知機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

-	設問内容	選択肢	参照
	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ	23 頁



認知機能の低下リスクについて、全体では46.9%が有リスクとなっています。

性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、また、女性では70歳以上のすべての年齢層で過半数が有リスクとなっています。

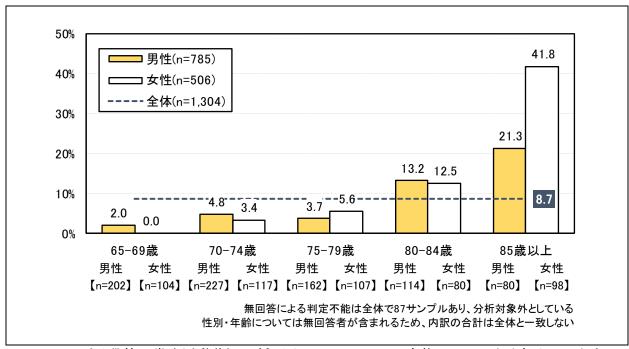
(7) IADL (手段的日常生活動作)の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、5点満点中、3点以下を「低下」として評価します。

IADLは、外出や買物など、自立した日常生活を送るために必要な能力の判断基準となります。

設問内容	選択肢		参照
バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	 できるし、している できるけどしていない できない 	1点 1点 O点	24 頁
自分で食品・日用品の買物をしていますか	 できるし、している できるけどしていない できない 	1点 1点 0点	24 頁
自分で食事の用意をしていますか	 できるし、している できるけどしていない できない 	1点 1点 O点	25 頁
自分で請求書の支払いをしていますか	 できるし、している できるけどしていない できない 	1点 1点 0点	25 頁
自分で預貯金の出し入れをしていますか	 できるし、している できるけどしていない できない 	1点 1点 0点	25 頁



IADL(手段的日常生活動作)の低下リスクについて、全体では8.7%が有リスクとなっています。

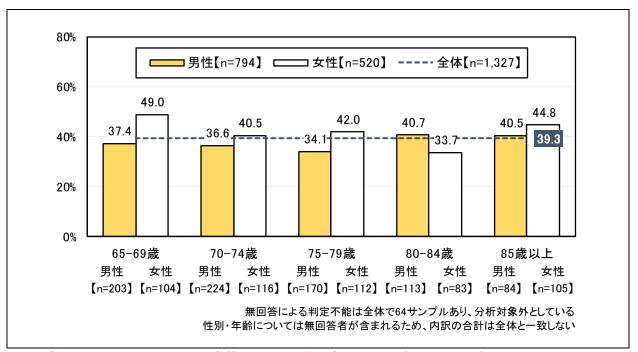
性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに80歳以上の年齢階層で比較的多く該当する傾向がみられます。男女いずれも「85歳以上」の該当割合が最も高く、特に女性については41.8%と突出して高い数値を示しています。

(8) うつ傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で1問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ	40 頁
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ	40 頁



うつ傾向のリスクについて、全体では39.3%が有リスクとなっています。

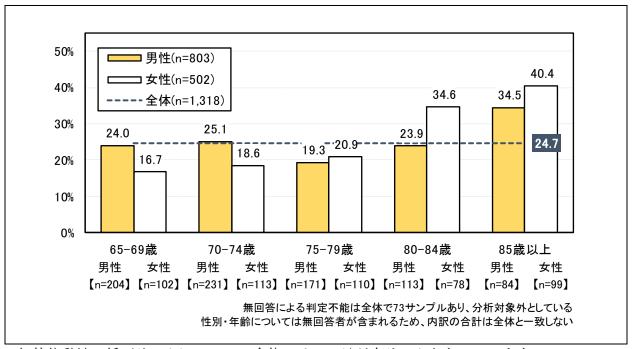
性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢階層による大きな差はみられず、男性では「80~84歳」が40.7%で最も高く、女性では「65~69歳」が49.0%で最も高くなっています。

(9) 知的能動性の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、2点以下を「低下」として評価します。 知的能動性は、探索、創作、余暇活動などの知的な活動をすることです。

設問内容	選択肢	参照	
年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点	25 頁
新聞を読んでいますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点	26 頁
本や雑誌を読んでいますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点	26 頁
健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点	27 頁



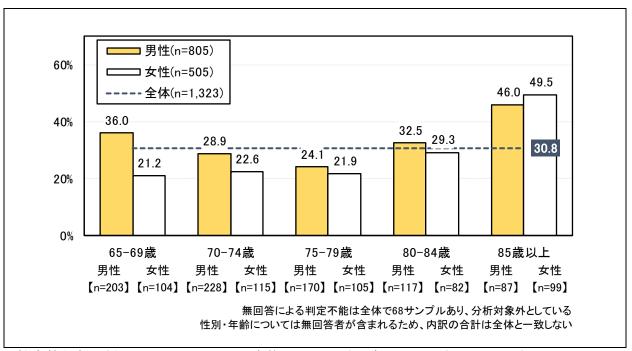
知的能動性の低下リスクについて、全体では24.7%が有リスクとなっています。 性別・年齢別に該当割合をみると、女性では年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」では40.4%が有リスクとなっています。 男性では「85歳以上」が34.5%で最も高くなっています。

(10) 社会的役割の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、2点以下を「低下」として評価します。 社会的役割は、仲間と会食の機会を持ったり、地域の活動に参加したりするなど、 地域で社会的な役割を果たすことです。

設問内容	設問内容選択肢		
友人の家を訪ねていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	27 頁	
家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	27 頁	
 病人を見舞うことができますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	28 頁	
若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	28 頁	



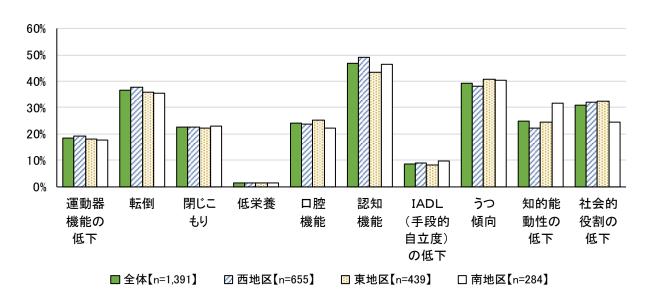
社会的役割の低下リスクについて、全体では30.8%が有リスクとなっています。

性別・年齢別に該当割合をみると、女性ではおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」では49.5%が有リスクとなっています。

一方、男性では75歳未満の前期高齢者の有リスク割合も高くなっています。

(11) 居住地区別有リスク割合

■居住地区(有リスク割合)



単位:%

	運動器 機能の 低下	転倒	閉じこ もり	低栄養	口腔機能	認知機能	IADL (手段 的自立 度)の 低下	うつ 傾向	知的能 動性の 低下	社会的 役割の 低下
全体【n=1,391】	18.3	36.5	22.7	1.4	24.0	46.9	8.7	39.3	24.7	30.8
西地区【n=655】	19.0	37.8	22.5	1.5	23.7	48.9	8.8	38.0	22.2	32.1
東地区【n=439】	18.0	36.0	22.3	1.2	25.3	43.5	8.3	40.6	24.5	32.5
南地区【n=284】	17.5	35.4	22.8	1.2	22.2	46.5	9.9	40.2	31.7	24.4

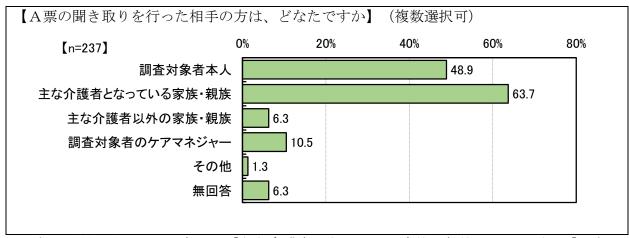
居住地区でみると、いずれの地区においても「認知機能」の有リスク割合が最も多く、次いで「うつ傾向」、「転倒」となっており、地区による大きな差はみられません。

Ⅲ 調査結果② 【在宅介護実態調査】

_	ൈ	_
-	oo	_

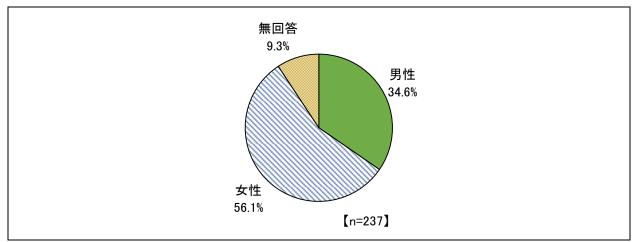
調査票記入者及び調査対象者について

◎A票の聞き取りを行った相手の方



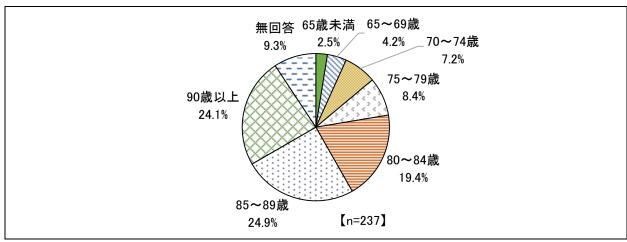
調査票の聞き取りをした方は、「主な介護者となっている家族・親族」が63.7%、「調査対象者本人」が48.9%などとなっています。

◎性別



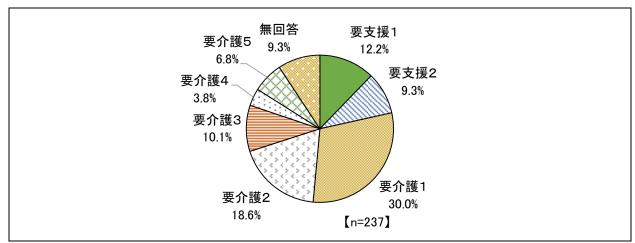
性別は、「男性」が34.6%、「女性」が56.1%となっています。

○年齢



年齢は、「85~89歳」が24.9%で最も多く、以下、「90歳以上」が24.1%、「80~84歳」が19.4%、「75~79歳」が8.4%、「70~74歳」が7.2%などとなっています。

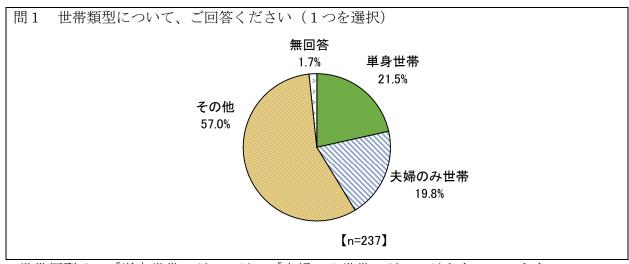
◎要介護状態区分



要介護認定の状況は、「要介護 1 」が30.0%で最も多く、以下、「要介護 2 」が18.6%、「要支援 1 」が12.2%、「要介護 3 」が10.1%、「要支援 2 」が9.3%などとなっています。

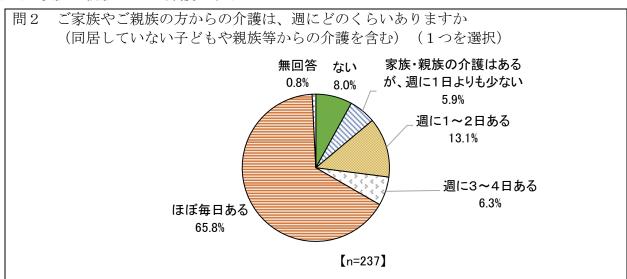
A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

(1)世帯類型



世帯類型は、「単身世帯」が21.5%、「夫婦のみ世帯」が19.8%となっています。

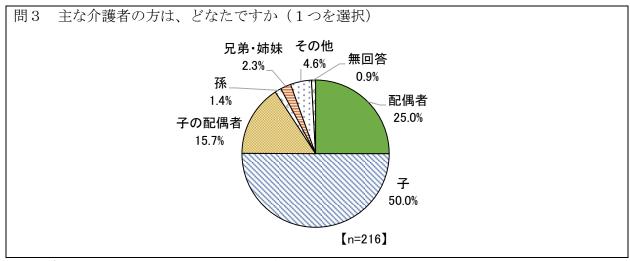
(2) 家族・親族からの介護の状況



家族や親族からの介護の状況は、「ほぼ毎日ある」が65.8%で最も多く、以下、「週に $1 \sim 2$ 日ある」が13.1%、「週に $3 \sim 4$ 日ある」が6.3%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が5.9%となっています。

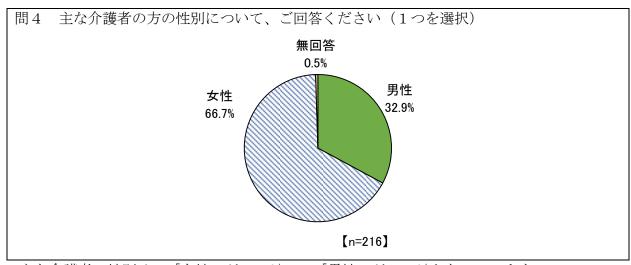
なお、8.0%が「ない」と回答しています。

(3) 主な介護者



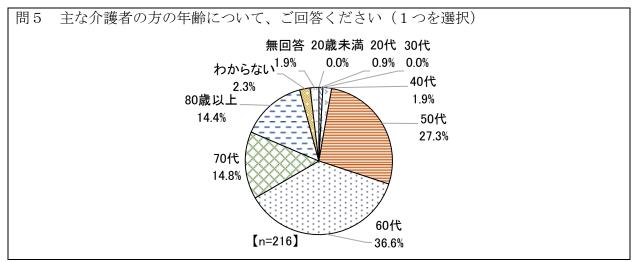
主な介護者は、「子」が50.0%で最も多く、「配偶者」が25.0%、「子の配偶者」が15.7%、「兄弟・姉妹」が2.3%などとなっています。

(4) 主な介護者の性別



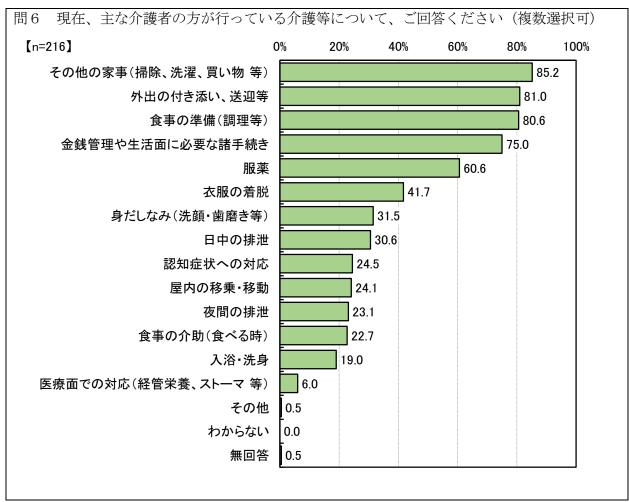
主な介護者の性別は、「女性」が66.7%で、「男性」が32.9%となっています。

(5) 主な介護者の年齢



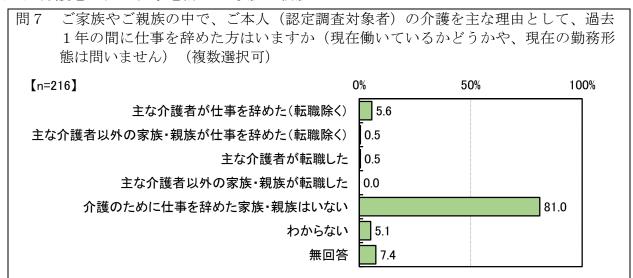
主な介護者の年齢は、「60歳代」が36.6%で最も多く、以下、「50歳代」が27.3%、「70歳代」が14.8%、「80歳以上」が14.4%などとなっており、60代以上が大半を占めています。

(6) 主な介護者が行っている介護



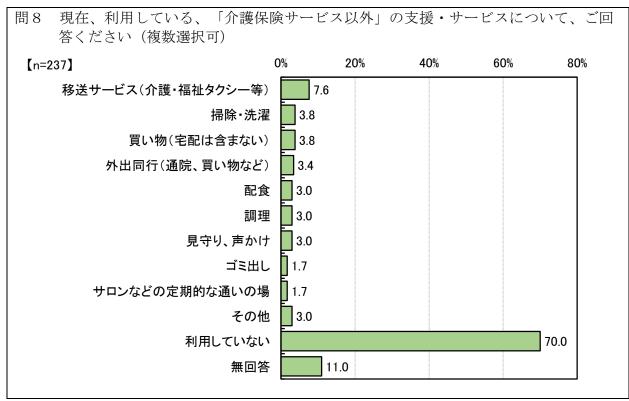
主な介護者が行っている介護については、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が85.2%で最も多く、以下、「外出の付き添い、送迎等」が81.0%、「食事の準備(調理等)」が80.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が75.0%、「服薬」が60.6%などとなっています。

(7) 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族



介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた家族や親族について、「主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)」が5.6%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」と 0.5%、「主な介護者が転職した」が0.5%で、合わせると6.6%となっています。 なお、81.0%が「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答しています。

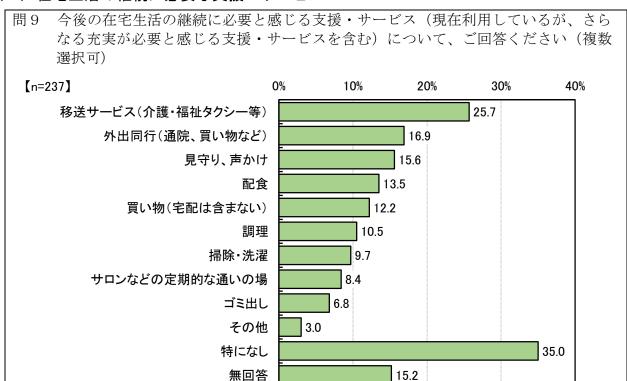
(8) 介護保険サービス以外の支援・サービス利用状況



介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況は、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が7.6%で最も多く、「掃除・洗濯」、「買い物(宅配は含まない)」が3.8%、「外出同行(通院、買い物など)」が3.4%などとなっています。

なお、70.0%は「利用していない」と回答しています。

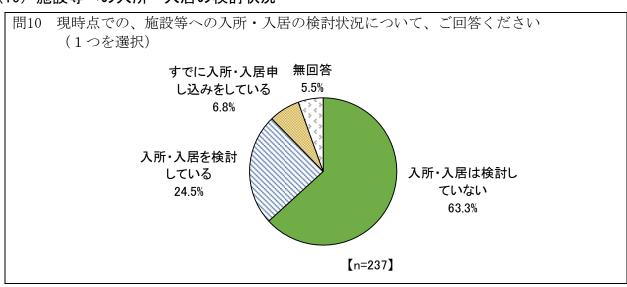
(9) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス



今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が25.7%最も多く、以下、「外出同行(通院、買い物など)」が16.9%、「見守り、声かけ」が15.6%、「配食」が13.5%、「買い物(宅配は含まない)」が12.2%などとなっています。

なお、35.0%が「特になし」と回答しています。

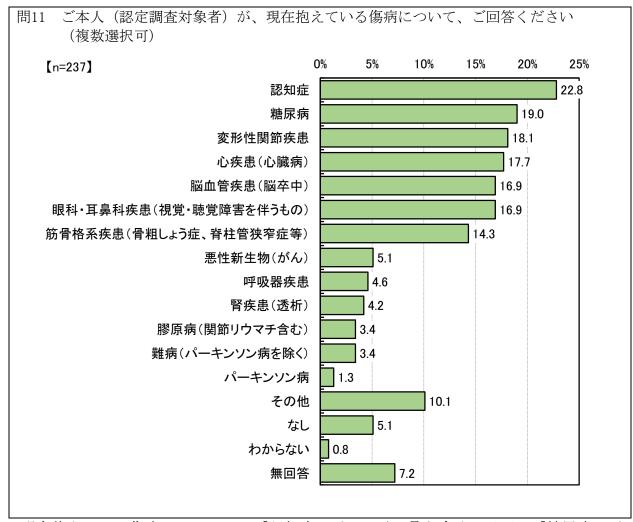
(10) 施設等への入所・入居の検討状況



現時点での、施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居を検討している」が24.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が6.8%となっています。

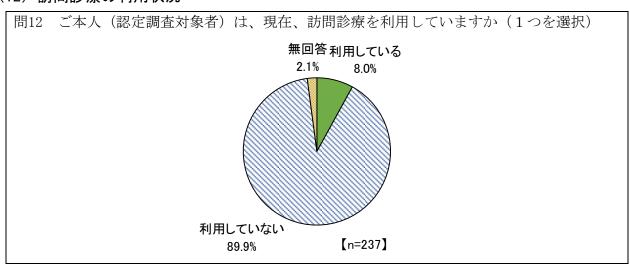
なお、63.3%が「入所・入居は検討していない」と回答しています。

(11) 現在抱えている傷病



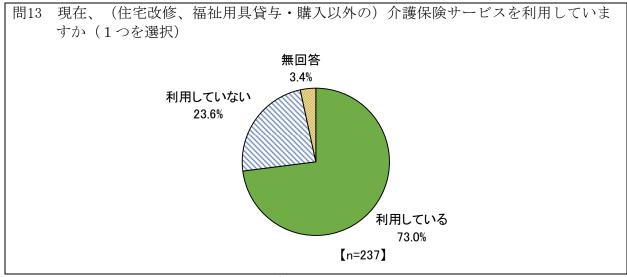
現在抱えている傷病については、「認知症」が22.8%で最も多く、以下、「糖尿病」が19.0%、「変形性関節疾患」が18.1%、「心疾患(心臓病)」が17.7%、「脳血管疾患(脳卒中)」、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」が16.9%などとなっています。

(12) 訪問診療の利用状況



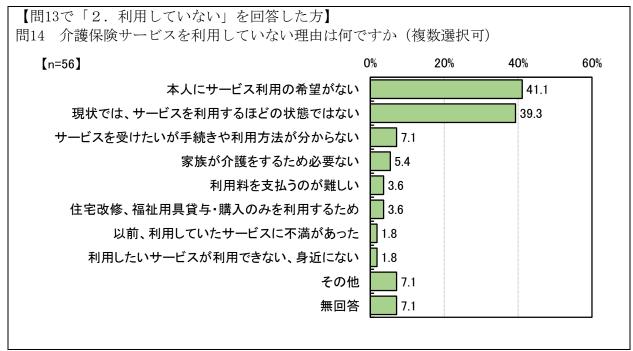
訪問診療の利用状況は、「利用している」が8.0%、「利用していない」が89.9%となっています。

(13) 介護保険サービスの利用状況



住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスについては、「利用している」が73.0%、「利用していない」が23.6%となっています。

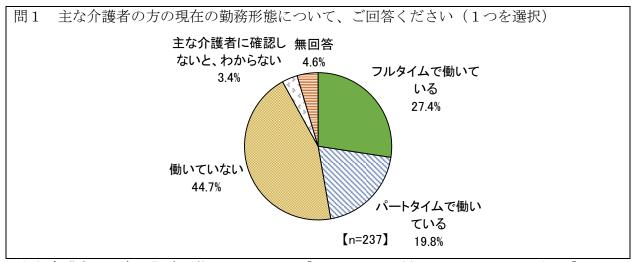
(14) 介護保険サービスを利用していない理由



介護保険サービスを利用していない理由は、「本人にサービス利用の希望がない」が41.1%で最も多く、以下、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が39.3%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が7.1%、「家族が介護をするため必要ない」が5.4%などとなっています。

B票 主な介護者、もしくはご本人にご回答・ご記入頂く項目

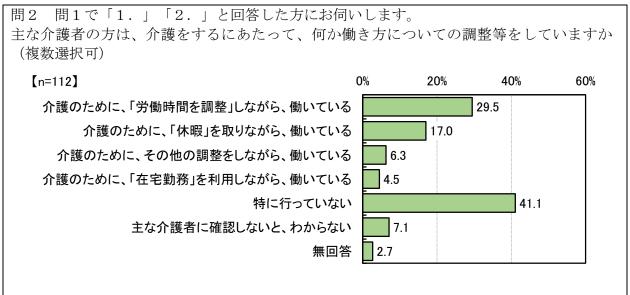
(1) 主な介護者の勤務形態



主な介護者の現在の勤務形態については、「フルタイムで働いている」が27.4%、「パートタイムで働いている」が19.8%となっています。

なお、44.7%が「働いていない」と回答しています。

(2) 働き方の調整について

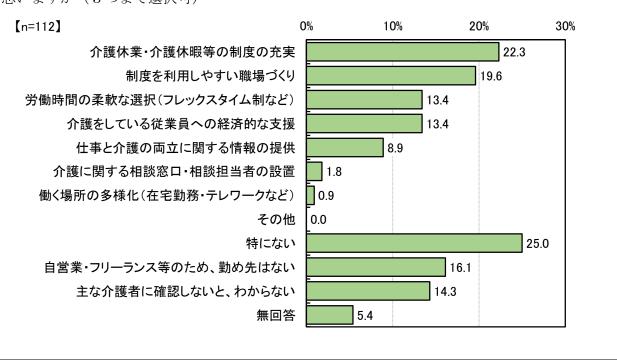


介護をするにあたって働き方の調整をしているかを尋ねたところ、「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が29.5%で最も多く、以下、「介護のために、「休暇」を取りながら、働いている」が17.0%、「介護のために、その他の調整をしながら、働いている」が6.3%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が4.5%となっています。

なお、41.1%が「特に行っていない」と回答しています。

(3) 仕事と介護の両立のための支援

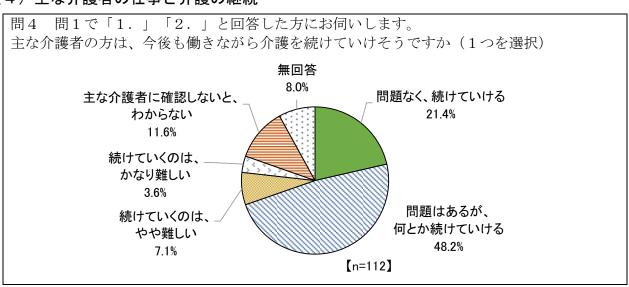
問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると 思いますか(3つまで選択可)



仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が22.3%で最も多く、以下、「制度を利用しやすい職場づくり」が19.6%、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」、「介護をしている従業員への経済的な支援」がともに13.4%などとなっています。

なお、25.0%が「特にない」、16.1%が「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」 と回答しています。

(4) 主な介護者の仕事と介護の継続



主な介護者の仕事と介護の継続については、「問題はあるが、何とか続けていける」が48.2%で最も多く、次いで、「問題なく、続けていける」が21.4%となっています。

一方、3.6%が「続けていくのは、かなり難しい」、7.1%が「続けていくのは、やや難しい」 と回答しています。

(5) 主な介護者が不安に感じる介護

【全員の方が回答してください】 問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等につい て、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可) [n=237]20% 40% 33.3 認知症状への対応 26.6 外出の付き添い、送迎等 22.4 その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) 夜間の排泄 21.1 日中の排泄 20.7 入浴•洗身 20.7 食事の準備(調理等) 19.0 屋内の移乗・移動 18.1 17.7 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 14.8 食事の介助(食べる時) 10.1 8.0 衣服の着脱 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 5.9 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) 5.5 5.1 不安に感じていることは、特にない 3.4 主な介護者に確認しないと、わからない 9.3

主な介護者が不安に感じる介護は、「認知症状への対応」が33.3%で最も多く、以下、「外出の付き添い、送迎等」が26.6%、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が22.4%、「夜間の排泄」が21.1%、「日中の排泄」、「入浴・洗身」がともに20.7%などとなっています。

9.3

無回答

Ⅳ 資料編

_	74	_

第8期

郵 送

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票

(高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のためのアンケート調査)

ご協力のお願い――

市民の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日ごろから本市の高齢者福祉行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、市では令和3年度から5年度までを計画期間とした「第8期匝瑳市高齢者福祉計画・ 介護保険事業計画」の策定にあたり、その基礎資料とするためのアンケート調査「介護予防・ 日常生活圏域ニーズ調査」を行うこととしました。

この調査は、要介護度の悪化につながるリスクや高齢者の生活支援の充実、介護予防の推進等のために必要な社会資源を把握し、計画に反映するために実施するものです。

匝瑳市の高齢者対策の今後の方向性を決める大切な調査ですので、本調査の趣旨をご理解 の上、ご協力くださるようお願いいたします。

令和2年2月

匝瑳市長 太田 安規

<ご記入にあたってのお願い>

- ◆この調査の対象者は、令和元年 12月31日現在で65歳以上の方です。
- ◆ご回答は、お送りした封筒のあて名のご本人にお願いいたします。
- ◆ご回答は、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
- ◆回答数は設問によって異なるため、()内のことわり書きに従ってください。
- ◆「その他」と回答した場合には、()内に具体的な内容をご記入ください。
- ◆ご記入いただいた調査票は、2月21日(金)までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
- ◆この調査に関するお問い合わせは、下記まで、お願いいたします。

<問い合わせ先> 匝瑳市高齢者支援課介護保険班

電話:0479-73-0033(直通)

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。 なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、匝瑳市内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する匝瑳市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

調査票の記入者や、あて名のご本人の情報について

(1)調査票の記 <i>刀</i>	し日をお書きください。		
令和2年()月() 🖯	
(2) 調査票を記 <i>力</i>	くされたのはどなたです	すか。(○は1つ)	
1. あて名の	ご本人が記入		
2. ご家族が	記入 → (あて名	のご本人からみた約	売柄)
3. その他()
(3) あて名のご本	人の年齢を記入してぐ	ください。	
()歳 (記入日時	:点)	
(4) あて名のご本	人の性別をお答えくた	さい 。	
1. 男性	2. 女性		

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えください。(○は1つ)

1. 1人暮らし

- 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
- 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯

5. その他(

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇は1つ)

1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

)

3. 現在、何らかの介護を受けている(要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

(2)-① 【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方(介護が必要な方)のみ】

①介護·介助が必要になった主な原因はなんですか。(○はいくつでも)

- 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
- 2. 心臓病
- 3. がん(悪性新生物)
- 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)
- 5. 関節の病気 (リウマチ等)
- 6. 認知症 (アルツハイマー病等)

)

7. パーキンソン病

8. 糖尿病

9. 腎疾患 (透析)

10. 視覚・聴覚障害

11. 骨折•転倒

12. 脊椎損傷

13. 高齢による衰弱

14. その他(

15. 不明

(2)-②【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

- 1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫

- 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他(

(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

- 1. 大変苦しい
- 2. やや苦しい
- 3. ふつう
- 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

(4)お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

- 1. 持家(一戸建て) 2. 持家(集合住宅) 3. 公営賃貸住宅

- 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) 6. 借家

7. その他()

問2 からだを動かすことについて

(1)~(3) 日常の歩行状況などについてお答えください。(それぞれ1つに〇)

	1. できるし、 している	2. できるけどしていない	3. できない
(1) 階段を手すりや壁をつたわらずに 昇っていますか	1	2	3
(2) 椅子に座った状態から何もつか まらずに立ち上がっていますか	1	2	3
(3) 15 分位続けて歩いていますか	1	2	3

(4)	過去1年間に転ん	」だ経験がありますか。	(()は1つ)
------------	----------	-------------	---------

1. 何度もある

2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

1. はい

2. いいえ

(8)-①【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 病気

2. 障害(脳卒中の後遺症など)

3. 足腰などの痛み

4. トイレの心配(失禁など)

5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害

7. 外での楽しみがない

8. 経済的に出られない

9. 交通手段がない

10. その他(

)

(9) 5	外出する際	その移動手段	とは何です	*か。(O	はいくつつ	でも)
----------------	-------	--------	-------	-------	-------	-----

1. 徒歩

2. 自転車

3. バイク

- 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車

- 7. 路線バス
- 8. 病院や施設のバス 9. 車いす
- 10. 電動車いす (カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー

13. その他(

)

問3 食べることについて

(1) あて名のご本人の身長・体重をお答えください。(それぞれ数字を記入)

身長	cm	体重		kg
----	----	----	--	----

(2)~(5) 食べることや、口や歯の状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)

	はい	いいえ
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	2
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	1	2
(4) 口の渇きが気になりますか	1	2
(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか	1	2

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。(〇は1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- 1. 自分の歯は <u>20 本以上</u>、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は <u>20 本以上</u>、入れ歯の利用<u>なし</u>
- 3. 自分の歯は <u>19 本以下</u>、かつ<u>入れ歯を利用</u> 4. 自分の歯は <u>19 本以下</u>、<u>入れ歯</u>の利用<u>なし</u>

(6)-①【すべての方】

①噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

1. はい

2. いいえ

(6)-②【(6)で「1」または「3」の方(入れ歯を利用している方)のみ】

②毎日入れ歯の手入れをしていますか。(〇は1つ)

1. はい

2. いいえ

(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。(〇は1つ)

1. はい

2. いいえ

(8) どなたかと食事をともにする機会はありますか。(○は1つ)

1. 毎日ある

2. 週に何度かある

3. 月に何度かある

4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1)~(16)毎日の生活の状況についてお答えください。(それぞれ1つに〇)

■物忘れについて	はい	いいえ
(1) 物忘れが多いと感じますか	1	2
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1	2
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか	1	2

■外出・買物・食事・金銭管理に ついて	1. できるし、 している	2. できるけど していない	3. できない
(4) バスや電車を使って 1 人で外出 していますか(自家用車でも可)	1	2	3
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	1	2	3
(6) 自分で食事の用意をしていますか	1	2	3
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	1	2	3
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1	2	3

■書類の作成、新聞・雑誌の購読状況について	はい	いいえ
(9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1	2
(10) 新聞を読んでいますか	1	2
(11) 本や雑誌を読んでいますか	1	2

■健康への関心と他者との関わりについて	はい	いいえ
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	1	2
(13) 友人の家を訪ねていますか	1	2
(14) 家族や友人の相談にのっていますか	1	2
(15) 病人を見舞うことができますか	1	2
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	1	2

(17) 趣味はありますか。(○は1つ)

1. 趣味あり(→具体的に) 2. 思いつかない

(18) 生きがいはありますか。(○は1つ)

1. 生きがいあり (→具体的に) 2. 思いつかない

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①~⑧それぞれについて、1つずつ○)

	週4回 以上	週 2~3回	週1回	月 1~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係の グループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

- (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきし た地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いま すか。(○は**1**つ)
 - 1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している
- (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきし た地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加し てみたいと思いますか。(○は1つ)
 - 1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(○はいくつでも)

1. 配偶者

- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども
- 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣

6. 友人

- 7. その他(
- 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(○はいくつでも)

1. 配偶者

- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども

- 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣

6. 友人

- 7.その他(
-) 8. そのような人はいない

	んだときに、看病や世話をしてく	れる人。(○はいくつでも)
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(4) 反対に、看病や世話をしてあ	5げる人。(○はいくつでも)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(5) 家族や友人・知人以外で、何 (Oはいくつでも)	可かあったときに相談する相手を	教えてください。
1. 自治会・町内会・老人クラ	ブ 2. 社会福祉協議	会•民生委員
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医	師・看護師
3. ケアマネジャー5. 地域包括支援センター・役		師・看護師)
5. 地域包括支援センター・役	所 6. その他(
5. 地域包括支援センター・役 7. そのような人はいない	所 6. その他 (べらいですか。(Oは1つ)	
5. 地域包括支援センター・役7. そのような人はいない(6) 友人·知人と会う頻度はどれ	所 6. その他 (べらいですか。(Oは1つ))

1. 0人(いない) 2. 1~2人 3. 3~5人 4. 6~9人 5. 10人以上

(8) よく会う友人・知人	はどんな関係のノ	人です	か。((0はいく	(つでも))		
1. 近所・同じ地域の	D人		2.	幼なじる	み			
3. 学生時代の友人			4.	仕事では	の同僚・	元同僚		
5. 趣味や関心が同し	ジ友人		6.	ボランテ	・ィア等の	の活動での	の友人	
7. その他()	8.	いない				
問7 健康につ	いて							
(1) 現在のあなたの傾	康状態はいかが ⁻	ですか	. (C)は1つ)				
1. とてもよい	2. まあよい	3	3. t	iまりよ [、]	くない	4.	. よくな	(1)
(2) あなたは、現在どの					、あては	ままる点	i数にO))
 とても不幸 <							→ とて	も幸せ
 O点 1点 2; 	点 3点 4点	i 5	点	6点	7点	8点	9点	10点
(3)この1か月間、気分 (○は1つ)	}が沈んだり、ゆう	うつな	気持	ちになっ	たりする	ることがま	5りました	:か。
1. はい			2.	いいえ				
(4) この1か月間、どう よくありましたか。(て興味	ŧがオ	っかない。	、あるい	は心から	ら楽しめ	ない感じか
1. はい			2.	いいえ				
		1:	3					

(5) お酒は飲みますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む

2. 時々飲む

3. ほとんど飲まない

4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている

2. 時々吸っている

3. 吸っていたがやめた

4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

1. ない

2. 高血圧

3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)

4. 心臓病

5. 糖尿病

6. 高脂血症(脂質異常)

7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気

9. 腎臓・前立腺の病気

まんごかく 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)

11. 外傷(転倒・骨折等)

12. がん (悪性新生物)

13. 血液・免疫の病気

14. うつ病

15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病

17. 目の病気

18. 耳の病気

19. その他(

)

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)					
	1.	はい	2. いいえ		

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ	

問9 その他

(1) あなたが健康を維持するために必要と思われることは何ですか。(〇は3つまで)

1. 腰痛·膝痛予防	2. 転倒•骨折予防	3. ストレッチ・筋力トレーニング
4. 認知症予防	5. 栄養バランス	6. 口腔ケア
7. その他()

(2) あったら利用してみたい高齢者福祉サービスは何ですか。(〇は3つまで)

1. 移送・送迎サート	ビス 2.	安否確認・見守りせ	ナービス 3. 家事代行サービス
4. 買い物支援(フ	ア. 宅配	イ. 移動販売車	ウ. 店舗までの移送)
5. 配食サービス	6.	つどいの場	
7. その他()	

「設体映削及で向節有価値リーこへは	ぱとについく、こ息兄・こ安室などかこさいましたり、
自由にお書きください。	

ご記入いただいたアンケート用紙は **2月21日(金)** までに同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函して下さい。切手は不要です。

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号[_)

【A 票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】(複数選択可)

1. 調查対象者本人

- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. 調査対象者のケアマネジャー

5. その他

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

1. 単身世帯

- 2. 夫婦のみ世帯
- 3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- 1. ない
- 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
- 3. 週に1~2日ある
- 4. 週に3~4日ある
- 5. ほぼ毎日ある

問8(裏面)へ

問3~問13へ

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

1. 配偶者

2. 子

3. 子の配偶者

4. 孫

- 5. 兄弟•姉妹
- 6. その他

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

1. 男性

2. 女性

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

1. 20 歳未満

2.20代

3.30代

4.40代

5.50代

6.60代

7.70代

- 8.80歳以上
- 9. わからない

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

[身体介護]

1. 日中の排泄

2. 夜間の排泄

3. 食事の介助(食べる時)

4. 入浴·洗身

5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)

6. 衣服の着脱

7. 屋内の移乗・移動

8. 外出の付き添い、送迎等

9. 服薬

10. 認知症状への対応

11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等)

〔生活援助〕

12. 食事の準備(調理等)

13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)

14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

[その他]

15. その他

16. わからない

- 問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞め た方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)
- 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)

2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除

<)

3. 主な介護者が転職した

4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した

5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない

6. わからない

- ※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。
- ここから再び、全員に調査してください。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

1. 配食

2. 調理

3. 掃除·洗濯

4. 買い物(宅配は含まない)

5. ゴミ出し

6. 外出同行(通院、買い物など) 9. サロンなどの定期的な通いの場

7. 移送サービス(介護・福祉タケシー等) 8. 見守り、声かけ

10. その他 11.利用していない

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる 支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

1. 配食

2. 調理

3. 掃除•洗濯

4. 買い物(宅配は含まない)

5. ゴミ出し

6. 外出同行(通院、買い物など)

7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) 8. 見守り、声かけ

9. サロンなどの定期的な通いの場

10. その他

11.特になし

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- 1. 入所・入居は検討していない
- 2. 入所・入居を検討している
- 3. すでに入所・入居申し込みをしている
- ※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

1. 脳血管疾患(脳卒中)

2. 心疾患(心臟病)

3. 悪性新生物(がん)

4. 呼吸器疾患

5. 腎疾患(透析)

6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症

等)

7. 膠原病 (関節リウマチ含む)

8. 変形性関節疾患

9. 認知症

10. パーキンソン病

11. 難病(パーキンソン病を除く)

12. 糖尿病

13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)

14. その他

15. なし

16. わからない

問 12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

1. 利用している

2. 利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している

2. 利用していない

● 問 13 で「2.」を回答した場合は、問 14 も調査してください。

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない

2. 本人にサービス利用の希望がない

3. 家族が介護をするため必要ない

4. 以前、利用していたサービスに不満があった

5. 利用料を支払うのが難しい

- 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
- 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
- 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
- 9. その他
- 問2で「2.」~「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。
- ●「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

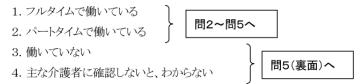
B票

被保険者番号〔	

主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)



※「パートタイム」とは、「1 週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 <u>問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。</u>主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

- 1. 特に行っていない
- 2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
- 3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
- 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 5. 介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている
- 6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 <u>問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。</u>主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、 仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 3. 制度を利用しやすい職場づくり

ど)

- 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
- 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 9. その他
- 11. 主な介護者に確認しないと、わからない

- 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制な
- 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 8. 介護をしている従業員への経済的な支援
- 10. 特にない

問4 <u>問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。</u>主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- 1. 問題なく、続けていける
- 3. 続けていくのは、やや難しい
- 5. 主な介護者に確認しないと、わからない
- 2. 問題はあるが、何とか続けていける
- 4. 続けていくのは、かなり難しい

⇒ 皆様、裏面へお進みください

1

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください (現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- 1. 日中の排泄
- 3. 食事の介助(食べる時)
- 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
- 7. 屋内の移乗・移動
- 9. 服薬
- 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
- 〔生活援助〕
 - 12. 食事の準備(調理等)
- 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 14. 金銀 [その他]
 - 15. その他
 - 17. 主な介護者に確認しないと、わからない

- 2. 夜間の排泄
- 4. 入浴·洗身
- 6. 衣服の着脱
- 8. 外出の付き添い、送迎等
- 10. 認知症状への対応
- 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)

16. 不安に感じていることは、特にない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 在宅介護実態調査 調査結果報告書

発 行: 令和2年6月

編 集 : 匝瑳市高齢者支援課